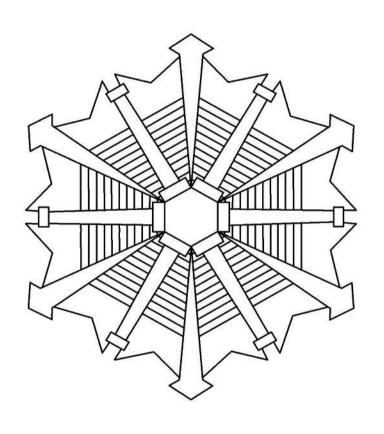
消防年報

平成30年版



葉山町消防本部

町 章



町の花

つつじ

町の木

くろまつ

町の鳥

うぐいす







ま え が き

この年報は、平成29年中(一部平成29年度等)における葉山町の消防現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資すると共に、消防に対する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、気象統計は消防署の観測によるものです。

平成 3 0 年 8 月

葉山町消防本部

目 次

【報告編】	
第1章 消防・救助活動について	
火災の状況	1
救助の状況 ź	1
災害への出場状況 2	2
PA連携出場及び救命活動 2	2
消火活動及び救助活動体制の強化2~3	3
第2章 多様化する災害への対応	
車両整備状況 4	4
消防水利 4	4
N B C災害への対応 4	4
第3章 救急活動について	
救急業務の実施状況 と	5
救急業務高度化の推進5~6	3
応急手当の普及啓発 6	3
第4章 通信指令業務について	
消防指令センター	7
1 1 9番通報受信状況 8	8
ファクスからの 119 番通報 8	8
インターネットを利用した 119 番通報	8
町民への災害発生情報の提供 9	9
第5章 予防行政	
火災予防広報関係 · · · · · · · · · · · · · · · ·	10
防火対象物関係 10~ ⁻	11
危険物関係	11

住宅防火対策の推進11~	· 12
第 6 章 消防団の活動	
葉山町消防団の紹介	13
消防団の主な活動	13
消防団員の募集	13
消防団協力事業所表示制度	14
【資料編】	
葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ	· 32
町勢	
位置	33
面積・人口・世帯数	34
地区別情勢	34
人口の推移	35
消防情勢	
消防本部・署・団設置	36
消防本部・署機構図	36
消防本部事務分掌	· 38
消防署事務分掌	39
消防本部・署・団情勢調	40
消防本部・署・団・車両一覧表	40
消防機器配置図	41
庶務関係	
消防予算額	42
町予算と消防予算の比	42
消防費と人口・世帯の比	42
消防職員定員・実員	43
消防職員年齢	43

消防職員勤続年数	43
教育実施状況	44
特殊技能資格者	45
警防関係	
ー バスス (A)	46
火災別比較	
出火原因別火災発生状況	
火災発生状況	
火災覚知方法時間別状況	
地区別火災発生状況	
時間別火災発生状況	
消防署の消防車両等の出場状況	
消防署出場件数前年比較(28 年中・29 年中) 53	
平成 29 年中出場件数	
山中救助概要	
消防本部・署現有車両機械	
等防用機器資材	
消防水利現勢	
空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果	
過去3年の枯草繁茂状況	
<u> </u>	01
指令関係	
消防本部・署・団の通信施設	62
消防通信システム系統図	63
消防本部・署・指令センター回線一覧表	64
消防本部・署・指令センター通信機器一覧表	65
無線局配置状況	66
防災行政無線システム構成図	67
防災通信機器等一覧表 68	~ 69
消防団通信機器等一覧表	70
119 番着信件数(固定・IP 電話含む)	71

携帯電話 119 番着信件数	71
Web119 を利用しての 119 通報件数	71
Web119 登録者数	71
気象関係	
月別気象調	72
風向頻度調	73
予防関係	
防火対象物・防火管理者選任状況	74
3 階建て以上防火対象物状況	75
防火対象物届出状況	76
その他届出状況	77
危険物関係届出状況	78
火災予防査察実施状況	79
危険物施設状況	80
地区別危険物施設状況	81
地区別危険物貯蔵取扱状況	81
危険物施設許認可処理状況	82
用途別建築同意等事務処理状況	83
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況	84
過去 5 年間の消防同意・確認通知・計画通知状況	84
救急関係	
救急概況	85
町内外在住別搬送人員状況	85
傷病程度別搬送人員状況	85
発生日別状況	85
救急救命士資格者及び再教育実施状況	85
救急出場・搬送人員状況	86
月別救急出場・搬送人員状況	87
過去 5 年間の救急出場・搬送人員状況	88

町内外在住別救急搬送人員状況	89
時間別救急出場状況	89
曜日別救急出場状況	90
覚知別救急出場状況	90
地区別救急出場状況	90
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況	91
救急隊員の行った応急処置	92
収容状況	93
医療機関紹介状況	93
応急手当普及啓発活動実施状況	93
応援救急出場件数	94
受援救急件数	94
救助関係	
救助概況	95
救助出場人員・活動人員状況	95
発生場所別救助人員状況	95
救助出場車両・活動車両状況	96
発生場所別救助出場(活動)状況	96
時間別救助出場(活動)状況	97
地区別救助出場状況	97
消防団関係	
消防団組織図	98
消防団員定員・実員	98
消防団員報酬	98
消防団員出動費用弁償	98
消防団詰所所在地	99
消防団員配置	99
消防団員年齢	100
消防団員勤続年数	101
消防団出場状況	101

消防団現有車両機	約成	102
消防団備品配置		103

報 告 編

第1章 消防・救助活動について

1 火災の状況

火災件数

平成 29 年(2017 年)中の火災発生件数は 10 件でした。

火災種別ごとに見てみると、建物火災 5件、車両火災 1件、その他火災が 4件で、船舶火災、航空機火災、林野火災の発生はありませんでした。

前年と比較すると、建物火災が 1 件減少し、その他火災が 4 件増加しました。

地区別火災件数

地区別の火災件数は、木古庭 1 件、堀内 7 件、長柄 2 件となっております。

建物焼損床面積と火災損害額

建物火災の焼損床面積は 276.32 ㎡で、前年の 460 ㎡に対して 183.68 ㎡の減少となっています。

また、平成 29 年(2017 年)中の火災による損害額は 8,162 万円で、前年の 3,863 万1 千円と比べ、4,298 万 9 千円増加しています。

出火原因

平成 29 年(2017 年)中の出火原因については、焚き火放置、電気機器、ガステーブルとなっています。

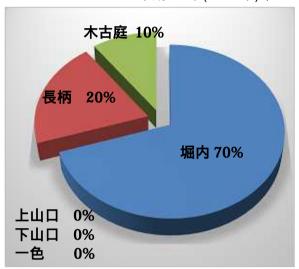
各家庭、各個人が火災への意識を高めて いただくことが必要です。

火災による死傷者

平成 29年(2017)中、火災による死者は1

名、負傷者は3名です。前年と比較すると、 死者は1名減少し、負傷者は2名増加して います。

平成 29 年(2017年)中



地区別火災件数

2 救助の状況

救助出場について

平成 29 年(2017 年)中の救助出場件数は 17 件で、そのうち 8 人を救出しています。

内訳としては、建物等による事故が3件、 火災3件、交通事故1件、水難事故2件、 山岳事故等を含むその他の事故が最も多く 8件でした。救助出場件数及び救出人員内訳 は表1-1のとおりとなっています。

平成 29 年(2017年)中

	内	訳		出場件数(件)	救出人員(人)
火			災	3	1
交	通	事	故	1	1
水	難	事	故	2	1
建物等による事故		3	2		
その他の事故		・の他の事故 8		8	3
合			計	17	8

表 1-1 救助出場件数及び救出人員内訳

3 災害への出場状況

消防隊の活動について

平成 29 年(2017)中の消防隊は、火災や救助、傷病者の搬送支援や救命活動など救急隊の活動を消防隊が支援する PA 連携出場等、さまざまな災害等に出場しています。種別ごとの出場状況は表 1-2 のとおりとなっています。

平成 29 年(2017 年)中

				•	,		
内		訳	出場件数	出場人員	出場車両		
2		司((件)	(人)	(台)		
火		災	10	183	40		
救	助		助		17	261	69
危	険 排	除	17	106	42		
偵		察	14	65	25		
そ	の	他	3	6	3		
РΑ	連携は	出場	108	511	206		

火災及び救助出場にあっては、消防団員 及び消防団車両を含みます。

表 1-2 消防隊等出場状況

4 PA 連携出場及び救命活動

救急出場件数の増加を踏まえ、救急活動における搬送時間の短縮を図るため、PA連携出場の運用を行っています。PA連携出場とは、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、要請の内容から必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車を同時に出場させ、救急隊と消防隊とが連携した救急活動を行うものです。

平成 29 年(2017 年)中の PA 連携出場の出 場種別ごとの件数は、救命 80 件、特定 28 件となっています。 PA 連携出場の出場基準は、次のとおりとなっています。

(1) 救命

119番通報の状況から心肺機能停止状態が予想され、迅速な救命措置等が必要な場合。また救急隊現場到着時、心肺機能停止状態であり、迅速な救命措置が必要な場合。

(2) 特定

中高層マンション及び海水浴場などの救急隊員だけで傷病者の搬送が困難な場合。 交通量が多い道路等での交通事故で傷病者 や救急隊員等の安全を確保する必要がある 場合や傷害事件などで、傷病者や救急隊員 を保護する必要がある場合。

5 消火活動及び救助活動体制の強化

近年の複雑多様化する消防活動の困難性、危険性の増大に対し、消火・救助活動体制を強化するため、平成 24 年度から大型照明・クレーンを装備した救助工作車を運用しています。また平成 27 年度からは、CAFS 付ポンプ自動車の運用を開始しています。

救助活動現場も都市型へと変化し、特殊災害への対応も必要不可欠となっています。装備の充実や隊員の育成が求められており、消防学校や各種教育機関へ隊員を派遣し年間をとおし実践的な訓練を計画的に実施しています。

また、広域化する災害に対しては、他機 関と合同での活動が要求され災害の規模、 状況に応じた的確な活動が要求されてい ます。

水難事故においても、初動体制の充実

が重要になり早期に活動できるように平成 22 年度から水難救助活動装備を配備し、海水浴シーズンは海上警備パトロールを実施しています。



第2章 多様化する災害への対応

1 車両整備状況

当町(1 本部 1 署)では、町内で発生する 様々な災害に対応するため、消防本部や消 防署に隊員及び車両等を配置し、24 時間体 制で有事の場合に備えています。

平成 30 年(2018 年)4月1日現在

車						種	台	数		
消	防力	ťン	プ	自	動	車	2	2		
救	助	-	I		作:		`	1		
高	規格	各救	急	自	動	車	2	2		
機	動 積		機 動		責	載		車	·	1
機	動					車	·	1		
指	揮		軍			車	,	1		
資	材	Ð	般	送		車	2	2		
_	輪				車	2	2			
総						数	1	2		

保有車両



消防ポンプ自動車

2 消防水利

消防水利は、消火活動を行う上で、なくて

はならないもので、その種類には、消火栓、 防火水槽、河川、池、プール、井戸等があり ます。

これらの配置等は国の基準である「消防 水利の基準」により定められており、最も活 用されているのは、消火栓と防火水槽です。

消火栓は水道配管に取り付けられているもので、町内に 444 基(平成 30 年(2018年)4月1日現在、私設も含む)が道路歩道上等に配置されています。

防火水槽は町内に 158 基(平成 30 年 (2018 年)4月1日現在、私設も含む)設置してあります。水道の断水・減水時や大地震時に消火栓が使用できないときの備えとして整備し、現在では、耐震性防火水槽の整備に努めています。

3 NBC災害への対応

NBC災害とは放射性物質(Nuclear)、生物剤(Biological)、化学剤(Chemical)による特殊災害のことを言います。この特殊災害に対応するため、NBC対応資機材を保有しています。

平成 30 年(2018年)4月1日現在

		•						
対	対 応		Ž Į	機		材	個	数
化	化学		方	護		服	3	8
有	事 ガス 測 定		器	1				
酸素	酸素濃度(可燃性ガス)測定器				E器	3	3	
放	射 線		射線測定		Ē	器	2	1
陽	圧 式	化	学	防	護	服	2	2
個	人	用	線	Ī	里里	計	2	2
放	射	線	防	Ì	蒦	服	5	5

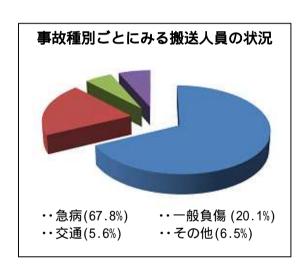
保有 NBC 対応資機材

第3章 救急活動について

1 救急業務の実施状況

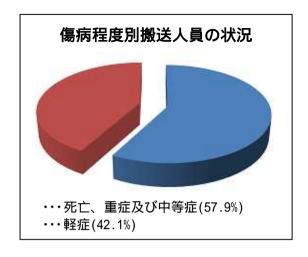
救急出場の状況

平成 29 年中における救急自動車による 救急出場件数は1,648件、搬送人員は1,579 人となっており、町民の21人に1人が救急 隊によって搬送されたことになります。事 故種別ごとにみると、搬送人員数が上位の ものは、急病1,069人(構成比67.8%) 一 般負傷321人(構成比20.1%) 交通87人 (構成比5.6%)となっています。



傷病程度別搬送人員の状況

平成 29 年中における救急自動車による 搬送人員 1,579 人のうち、死亡、重症及び 中等症の傷病者の割合は、全体の 57.9%、 入院加療を必要としない軽症の傷病者は、 42.1%となっています。



2 救急業務高度化の推進

救急救命士の処置範囲の拡大

(1) 除細動

平成3年の救急救命士法の施行以来、 医師の具体的指示の下に救急救命士が 実施していた除細動については、平成 15年4月から医師の包括的指示の下で 実施することが可能となっています。

(2) 気管挿管

平成16年7月から一定の講習及び病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。

また、気管内チューブによる気道確保を実施する場合に、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用すると気道確保の安全性や確実性が高まることから、平成23年8月より追加講習及び病院実習を修了した救急救命士は、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡が使用可能となっています。

(3) 薬剤投与

平成18年4月から一定の講習及び病院実習を修了し、認定を受けた救急救

命士に認められています。

更に平成21年3月よりアナフィラキシーショックにより、生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤(エピペン)を処方されている者であった場合には、救急救命士がアドレナリン製剤(エピペン)を投与することが可能となっています。

(4) 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びにブドウ糖溶液の投与 平成26年4月から一定の講習を受講 し、認定を受けた救急救命士に認められています。

三浦半島地区では平成 27 年 10 月 1 日より運用が開始され救命率の向上や、 後遺症の軽減に寄与するものと考えら れます。

メディカルコントロール体制の充実

メディカルコントロール体制とは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証する仕組みをいい、三浦半島地区(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)の医療機関と消防機関とが連携強化を図る体制が構築されています。

主な体制としては、以下のとおりです。

- (1) 救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置に対しての医師の常時指示、指導、助言体制。
- (2) 医師により医学的観点から検証が行われ、反映されるための事後検証体制。
- (3) 救急救命士が行う高度な救命処置等を

再教育するための病院実習。

(4) 救急救命士の処置範囲拡大に伴う講習 及び実習。

3 応急手当の普及啓発

救急出場要請から救急隊が現場に到着するまでに要した時間は、平成 29 年中の平均では 7 分であり、この間に救急現場に居合わせた人による応急手当が適切に実施されることで、大きな救命効果が期待されます。

当町でも救命講習の普及啓発を推進して おり、実習を中心とした基本的な心肺蘇生 法やAEDの安全な使用方法などについて 講習を行い、受講者には修了証を交付して います。講習会は、「広報はやま」等の広報 誌により、受講者の募集を行っています。

また、修了証等を交付する規定の講習時間や内容以外にも、要望に応じた「その他の救急講習」も行っています。



救急講習会風景

第4章 通信指令業務について

1 消防指令センター

火災、救急、救助等の出動は、そのほとん どが町民からの 119 番通報から始まります。

葉山町は、横須賀市と三浦市が平成25年4月から行っている119番通報の受付、消防車・救急車の出動指令を共同で行う「消防通信指令事務の共同運用」に平成27年4月1日から参画しています。

消防指令システムでは、119 番通報を受信すると、統合型位置情報システムと地図等検索装置によって、瞬時にその通報場所の地図を表示し、災害種別の決定と同時に

予告指令を行い、災害通報を受信中である ことを通知して消防署に出動準備を促しま す。

消防指令システムは、すべての車両の位 置等を常時把握しており、災害現場に最も 早く到着できる出動隊を自動的に編成し、 消防署へ出動指令の放送と指令書の出力を 行います。

各車両に搭載している車両運用端末装置には、出動指令と同時に災害現場の地図と指令情報を表示させ、活動中には防火対象物、危険物、水利及び災害時要援護者などの支援情報を表示し、消防隊・救急隊は、これらの情報を活用して的確な現場活動を行っています。



横須賀市・葉山町消防指令センター

2 119 番通報受信状況

平成 29 年 (2017 年) 中の葉山町内から の 119 番通報は、2,396 件あり、1日平均 約7件、受信しています。

その内、固定電話からの通報は、541 件(23%) 携帯電話からの通報は、892 件(37%) IP電話からの通報は、961 件(40%)となっています。

受信内容については、火災・救急・救助等への出動要請が1,751件で72.7%を占めていますが、特に緊急性のない災害・病院等の問い合わせ、いたずら、間違い・無言等の件数(訓練・試験を除く)が475件あり全体の19.8%を占めていることから、適切な119番通報を心がけるよう呼びかけています。

平成 29 年 (2017年)中

			119番全体	固定電話	携帯電話	IP 電話
	火	災	18	1	10	7
	救	急	1640	328	551	761
緊急性あり	救	助	7	1	4	2
あり	その他	災害	20	3	11	6
	他都市	転送	66	0	65	1
	小	計	1,751	333	641	777
	問い合	わせ	130	17	67	46
緊急	いた	ずら	7	2	3	2
緊急性なし	間違い	、無言	91	15	57	19
Ű	₹ 0.	他	247	61	115	71
	小	計	475	95	242	138
_	訓	練	140	88	6	46
そ の 他	試	験	30	25	3	2
וויי	小	計	170	113	9	48
	合計		2,396	541	892	963

119 番通報受信状況

3 ファクスからの 119 番通報

耳や言葉の不自由な方から、火災・救急などへの出動要請を受信するため、119番専用回線によるファクス通報を運用しています。さらに、平成27年4月1日から位置情報通知システムを活用し、より迅速な対応を図っています。

4 インターネットを利用した 119 番通報

聴覚障害がある人など、音声による緊急 通報が困難な人が、携帯電話やスマートフォンで消防に緊急通報を行うことができる「Web(ウェブ)119 サービス」の運用を平成 26 年 7 月 1 日から開始していましたが新たに「NET(ネット)119 サービス」に平成 29 年 12 月に移行しました。

このサービスは、事前登録した携帯電話やスマートフォンから、簡単なボタン操作により、GPSによる位置情報を付加した緊急通報を行うことができ、その通報は、消防指令センターで受信します。

消防指令センターと通報者が文字により対話する機能(チャット機能)を使用し、通報場所の特定や状況の把握を、より詳細に行うことができます。

5 町民への災害発生情報の提供

消防指令センターでは、消防車がサイレンを吹鳴して緊急走行する災害事案について、災害発生場所と活動状況等を、消防本部テレホンガイドとホームページでリアルタイムに案内しています。

災害情報のご案内

テレホンガイド 046-824-8119

ホームページ

http://hayama.fire.yokosuka.kanag awa.jp/saigai/hayama.html



病院のご案内

葉山町消防本部 046-876-0119

第5章 予防行政

1 火災予防広報関係

町民の生命・身体・財産を火災から未然に防ぐため、さまざまな広報活動を行い、防火 意識の向上を図っています。

火災予防運動

春、秋の火災予防運動期間中、消防車両に よる町内巡回広報や懸垂幕、のぼり旗及び 消防庁舎に設置した電光掲示板による防火 広報を行っています。



町内防火パレード

秋の火災予防運動期間中、消防団の協力のもと消防車両による町内全域の防火パレードを行い、町民の火災予防の意識高揚を図っています。

山火事防止広報

ハイキングコースを巡回し、老朽化した 山火事防止看板の交換を行っています。ま た、ハイカーに防火チラシ及びポケットティッシュを配布し山火事防止を呼びかけて います。

防火ポスターコンクール

幼少年期の防火意識の啓発及び向上を目的に町内小学4年生を対象とした防火ポスターコンクールを行っています。平成29年度は246作品の応募があり、応募頂いた作品は町教育センター「学びの広場」で展示会を行い、また、優秀な作品の中から住宅用防災機器等普及啓発用広報ポスターを作製し、公共施設及び町内物販店舗等に掲出するなど町民の方々に広く火災予防を呼びかけています。





2 防火対象物関係

町内における防火対象物の消防検査及び 関係者への防火指導、防火教育を行い、防火 対象物からの出火を未然に防げるよう努め ています。

防火対象物査察

年間を通して町内の宿泊施設・福祉施設・ 飲食店・物品販売店・その他の防火対象物の 査察を積極的に実施しています。

消防用設備等の維持管理、避難施設の管理状況及び防火管理体制等を確認し消防法令違反に対しての是正指導を行い、安心安

全な町づくりに努めています。



消防訓練

町内防火対象物の消防訓練時、職員の積極的な立会訓練を実施しています。

通報・消火・避難等の指導を行い事業所等 の防火教育に取り組んでいます。

3 危険物関係

町内で危険物を貯蔵・取扱う施設等からの火災及び流出事故を未然に防ぐことを目的とする取組みを行っています。

危険物安全週間

消防車両による広報活動や懸垂幕、のぼり旗による防火広報を行っています。また、 消防職員及び葉山町危険物安全協会会員を 対象に安全研修会を行っています。



危険物施設査察

危険物施設からの火災及び流出事故を未 然に防止することを目的として町内危険物 施設の査察を行っています。



路上查察等

秋の火災予防運動期間中、危険物移動タンク貯蔵所及び危険物運搬車両による事故を未然に防止するため、常置場所及び消防 庁舎前において査察を行っています。



4 住宅防火対策の推進

建物火災のうち住宅火災の占める割合は 高く、多くの高齢者が犠牲となっています。 住宅火災による死者の発生を防止するため、 住宅防火対策への取り組みを行っています。

住宅用防災機器等の展示

消防本部エントランスに住宅用防災機器 等を展示し普及啓発を行っています。

住宅用火災警報器

平成28年6月で住宅用火災警報器の設置義務化から10年を迎えました。しかしながら、いまだに未設置世帯が2~3割ある状況です。今後も未設置世帯に対し住宅用火災警報器の重要性を訴え早期の設置を促します。また、既に設置している世帯には、定期的な点検と設置から10年以上経過している機器は、本体内部の電子部品が劣化し火災を感知しなくなることが考えられるため、本体の交換を推奨するなど、適切な維持管理等について広報指導を行い、町民の生命、財産を火災から守れるよう努めていきます。

住宅用防災機器等

住宅における出火防止や消火・避難等の対策には、安全装置が設置されている暖房器具・調理器具の使用や住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具・住宅用自動消火装置・住宅用スプリンクラー設備等の設置が有効と考えられることから、これらの普及について積極的に推奨していきます。

第6章 消防団の活動

1 葉山町消防団の紹介

消防団の活動は、特別なことではありません。「自分たちのまちは自分たちで守る」その意識だけで参加できるのです。葉山町内でも、会社員、自営業、いろいろな方が地域の分団(木古庭・上山口・下山口・一色・堀内・長柄)に入団し活動しています。



第2回葉山町消防操法大会(第2分団)

2 消防団の主な活動

葉山町で火災が発生した場合、消防署 の消防隊と同時に出場し、消火作業にあた ります。

台風等の警戒や、実際に被害が発生し た場合の出動に備え各詰所に参集します。

管内消防水利 (防火水槽、消火栓等) の点検・把握。

その他、各分団長が計画する訓練等の 実施など。

3 消防団員の募集

平成 17 年 4 月 1 日から消防団員任命資格が改正され、葉山町在勤者につきましても入団ができるようになりました。葉山町に在住及び在勤されている人で、通常は各自の職業に従事しながら火災・風水害・地震等の災害に際して消防活動に従事する消防団員を募集しています。

4 消防団協力事業所表示制度

消防本部では消防団員の約67%が被雇 用者であることから、消防団員を雇用する 事業所の消防団活動への一層の理解と協力 を得るために、消防団活動に協力している 事業所を顕彰する「消防団協力事業所表示 制度」を実施しました。「消防団協力事業所表示 制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると 同時に、事業所の協力を通じて、地域防災 体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」として 認められた事業所は、取得した表示証を社 屋に提示でき、表示証のマークを自社ホームページなどで広く公表することができます。



5 葉山町学生消防団活動認証制度

消防本部では消防団員の高齢化が進んでいることから、若い世代の入団を促進することを目的に葉山町学生消防団活動認証制度を導入しました。

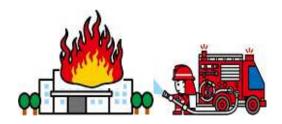
この制度は葉山町消防団員として消防団活動を行ってきた学生の功績を葉山町が認証し、就職活動等において、町が交付する『学生消防団活動認証証明書』を企業等へ提出し、消防団として社会貢献してきた実績を評価してもらえるようアピールすることができる制度です。

対象は、葉山町に居住する 18 歳以上の学 生等で、葉山町の消防団に所属し1年以上 継続的に消防団活動を行った方です。

町を守る。安心をつくる。

消防団員募集中!

『消防団は、地元の消防・防災にとって 欠かせない重要な活動です。町内在住・ 在勤の 18 歳以上の心身ともに健康な方 の入団をお待ちしています。』



お問い合わせは 葉山町消防本部 消防総務課 TEL046-876-0146



資 料 編

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長 佐川正雄 就任 団長1名、副団長2名、分団長6名、副分団長7名、班長35名、 副班長35名、団員237名、計323名 消防ポンプ自動車 1台 三輪消防ポンプ自動車 1台 腕用ポンプ 8台
昭和 23 年 (1948)	御用邸より手びきガソリンポンプ1台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長1名、副団長2名、分団長6名、副分団長7名、班長35名、 団員342名、計393名
昭和 25 年 (1950)	小型動力ポンプ(トーハツ VD - 50)C - 2 級 3 台を購入し、木古庭、上山口、長柄に配置する。
昭和 26 年 (1951)	第 2 代消防団長 矢嶋儀助 就任 腕用ポンプ 2 台を廃棄する。 小型動力ポンプ(トーハツ VF - 48)B - 3 級 1 台を購入し、下山 口に配置する。
昭和 27 年 (1952)	御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車(52 年型ニッサン R2B)2 台を購入し、下 山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VF - 48)B - 3 級 1 台 を上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を長柄に配置替えする。
昭和 29 年 (1954)	小型動力ポンプ (トーハツ VD - 50) C - 2級1台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッヂ消防ポンプ自動車の修理改造を行う。

昭和 30 年 (1955)	第3代消防団長 伊原 若 就任
昭和 31 年 (1956)	木古庭の消防器具置場を増築する。 木古庭と長柄にサイレンを設置する。 38 年式フォード消防ポンプ自動車 1 台を購入し、木古庭に配置 する。
昭和 32 年 (1957)	腕用ポンプ 5 台を廃棄する。
昭和 33 年 (1958)	小型動力ポンプ(トーハツ VF - 3) B - 3 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VD - 50、トーハツ VF - 48) 2 台を廃棄する。 消防ポンプ自動車(トヨタ FC70型)A - 2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッヂ消防ポンプ自動車を一色に配置替えする。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車(52 年型ニッサン R2B)を長柄に配置替えする。 長柄に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を廃車する。
昭和 34 年 (1959)	小型動力ポンプ積載用として、三輪車(マツダ 56CLY81 型)1 台を購入し、上山口に配置する。 小型動力ポンプ(トーハツ VF - 48)B - 3 級 1 台を購入し、一色に配置する。 小型動力ポンプ(トーハツ VE - 3)C - 2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 長柄に詰所を新築する。(木造平屋建、34.65 ㎡)
昭和 35 年 (1960)	消防団の定員を改正する。 団長1名、副団長2名、分団長6名、副分団長7名、班長26名、 団員156名、計198名 消防ポンプ自動車 3台 三輪消防ポンプ自動車 2台 小型動力ポンプ 7台 三輪積載車 1台

昭和 36 年 (1961)	下山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 52.69 ㎡) 消防ポンプ自動車(ニッサン JR - FRB)A - 2 級 1 台を購入し、一色に配置する。
昭和 37 年 (1962)	一色に配置の 37 年式ダッヂ消防ポンプ自動車を廃車する。 小型動力ポンプ(ラビット P402 - S)B - 3 級 2 台を購入 し、木古庭、長柄に配置する。 木古庭と長柄に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VD - 50)を廃棄する。
昭和 38 年 (1963)	第4代消防団長 森谷米吉 就任 小型動力ポンプ積載車(62年式プリンススーパーマイラー)2台 を購入し、木古庭、上山口に配置する。 下山口にサイレンを設置する。 木古庭に配置の38年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。
昭和 39 年 (1964)	葉山町役場に火災報知専用電話(119番)を設置する。 上山口に配置の三輪積載車(マツダ 56CLY81型)を廃車する。 小型動力ポンプ(ラビット P402 - M)B - 3級1台を購入し、堀内 に配置する。 一色に詰所を新築する。(コンクリートブロック2階建、延べ面 積87.81㎡) 消防ポンプ自動車(ニッサン FR - 40)A - 2級1台を購入し、下 山口に配置する。 下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車(52年型ニッサン R2B型) を廃車する。 堀内に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VE - 50)を廃棄する。
昭和 40 年 (1965)	第5代消防団長 萩原宏之助 就任 消防ポンプ自動車(ニッサン FR - 40)A - 2級1台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車(52年型ニッサン R2B型) を廃車する。
昭和 41 年 (1966)	上山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 91.92 ㎡) 小型動力ポンプ(ラビット P306) C - 1 級 2 台を購入し、木古庭、 上山口に配置する。 堀内に詰所を新築する。(鉄筋コンクリートブロック 2 階建、延 べ面積 107.52 ㎡)

昭和 42 年 (1967)

木古庭に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 ㎡)

長柄の詰所を増築する。(木造平屋建、68.57 m²) 防火水槽(40 m³ 堀内)1基を設置する。

消防職員 実員1名

昭和 43 年 (1968)

葉山町消防本部発足。(3月29日、葉山町一色2155番地) 初代消防長 細谷辰三郎 就任

神奈川県衛生部より救急自動車(トヨタダイナ 43RK - 171V 改)1 台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。

小型動力ポンプ (ラビット P306) C - 1級 1台を購入し、消防本部に配置する。

消防ポンプ自動車 (ニッサン FR - 40E) A - 2級1台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FC70 型)を廃車する。 消防職員 実員 12 名

昭和 44 年 (1969)

小型動力ポンプ (ラビット P403-M) B-3級2台を購入し、木古庭、一色に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402 - S)を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VF - 48)を廃棄する。

消防本部に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306)と、一色に配置の小型動力ポンプ(ラビット P403 - M)を配置替えする。

防火水槽(40㎡ 下山口、長柄)2基を設置する。

消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ - 55) A - 2 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防職員 実員 15 名

昭和 45 年 (1970)

指令車 (ニッサンプリンスグロリア HA - 30)1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防無線を設置する。

基地局1基10%、移動局3基10%、携帯2基1%

葉山町消防庁舎落成(4月1日 葉山町堀内2050番地 鉄筋コンクリート3階建、延べ面積521.972㎡)

防火水槽(40 m³ 木古庭、堀内)2基を設置する。

消防ポンプ自動車 1台

救急自動車 1台

指令車 1台

小型動力ポンプ 1台

消防職員 実員 19 名

昭和 46 年 葉山御用邸焼失(1月27日) (1971)水槽付消防ポンプ自動車(いすず TXG10) A - 2級1台を購入し、 消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局2基10W 広報車(トヨタマーク RT77)1台を購入し、消防本部に配置す る。 防火水槽(40 m³ 上山口)1基を設置する。 昭和 47 年 救急自動車(トヨタ RH18V) 1台を購入し、消防署に配置する。 (1972)消防無線機増設。移動局 1 基 10W 防火水槽(40 m³ 一色)1基を設置する。 消防職員 実員 22 名 防火水槽(40 m³ 上山口)1基を設置する。 昭和 48 年 小型動力ポンプ(ラビット P306) C-1級1台を購入し、下山口 (1973)に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VE - 3)を廃棄する。 昭和 49 年 消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD - 型) A - 2級1台を購入 し、一色に配置する。 (1974)一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン JR - FRB)を廃車する。 消防職員 実員 27 名 昭和 50 年 小型動力ポンプ(ラビット P306) C-1級1台を購入し、長柄に (1975) 配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402 - S) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD - 型) A - 2級2台を購入 し、木古庭、上山口に配置する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車(62年式プリン ススーパーマイラー)を廃車する。

木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306、ラビ ットP402 - S)を廃棄する。

消防無線機増設。携帯2基1₩

消防職員 実員 28 名

昭和 51 年 (1976)

日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車(ニッサン HF - 20 改) 1 台と小型動力ポンプ (ラビット P502 - S) B - 2 級 1 台の寄贈を受 け、一色に配置する。

昭和 52 年 (1977)

第6代消防団長 永津義次 就任

堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。

小型動力ポンプ積載車(スズキキャリーH - L50 改)2 台を購入し、 上山口、堀内に配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を堀内に配置替えする。

堀内に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402 - M)を廃棄する。 日本消防協会より広報車(三菱ギャラン H - A112V 改)1 台の寄贈を受け、消防本部に配置する。

消防本部に配置の広報車(トヨタマーク RT77)を廃車する。 指令車(トヨタマーク E-MX40)1 台を購入し、消防本部に配 置する。

消防本部に配置の指令車(ニッサンプリンスグロリア HA - 30) を廃車する。

積載車(ダイハツ S60PD) 1 台を購入し、消防署に配置する。

固定局を設置する。1基10W

無線式サイレン吹鳴装置を設置する。

消防職員 実員33名

昭和53年(1978)

消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD - 型)A-2級1台を購入し、下山口に配置する。

下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR - 40) を廃車する。

消防無線機増設。携帯 1 基 1₩

救急自動車(トヨタ RH42VB - J) 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の救急自動車(トヨタダイナ RK - 171V)を廃車する。

防火水槽(40㎡ 堀内)1基を設置する。

消防職員 実員34名

昭和 54 年 (1979)

消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD - 型)A-2級1台を購入し、長柄に配置する。

長柄に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR - 40) を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W

街頭消火器 (20型 ABC 粉末) 80基を堀内、一色に設置する。

昭和 55 年 (1980)

第2代消防長 尾﨑 昇 就任

消防ポンプ自動車 (ニッサン FH61BD - 型) A - 2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車(トヨタFJ - 55)を廃車する。 街頭消火器(20型 ABC 粉末)70基を堀内、一色、下山口に設置する。 防火水槽(40 m³ 上山口、下山口、堀内)3基を設置する。

昭和 56 年 (1981)

水槽付消防ポンプ自動車 (ニッサンディーゼル K - CM85C 改) A - 2級1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすず TXG10)を廃車する。

防火水槽(40 ㎡ 堀内)1基を設置する。

街頭消火器(20型 ABC 粉末)80基を堀内に設置する。

小型動力ポンプ(トーハツ V30AS) B-3級1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402 - M)を廃棄する。 小型動力ポンプ(トーハツ V15A) C - 1 級 1 台を購入し、上山口 に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ(ラビットP306)を廃棄する。

昭和 57 年 (1982)

消防ポンプ自動車(トヨタ FJ60V 改 BD - 型)A - 2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR - 40) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B - 3 級 1 台を購入し、堀内に 配置する。

堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306)を廃棄する。 街頭消火器 (20型 ABC 粉末) 83基を一色、堀内、長柄に設置する。

消防無線機増設。基地局 1 基 10W 予備機、携帯 1 基 5W

昭和 58 年 (1983)

救急自動車(トヨタ L - YH71VB)1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の救急自動車(トヨタRH18V)を廃車する。

小型動力ポンプ(トーハツ V30AS) B-3級1台を購入し、木古庭に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402 - M)を廃棄する。 広報車(ニッサンブルーバード L - VJ910 改)1 台を購入し、消 防署に配置する。

消防本部に配置の広報車(三菱ギャラン H - A112V 改)を廃車する。

街頭消火器 (20型 ABC 粉末) 81基を一色、堀内に設置する。

昭和 59 年 (1984)

街頭消火器 (20型 ABC 粉末) 208基を木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄に設置する。

昭和60年(1985)

第3代消防長 小峰和夫 就任

第 4 代消防長 鈴木寶三郎 就任

軽トラック (ダイハツ M - S664WD) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

指令車(ニッサンブルーバード E - U11 改)1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の指令車(トヨタマーク E-MX40)を廃車する。 積載車(三菱 M-U11V改)1台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車(ダイハツS60PD)を廃車する。

昭和61年(1986)

第7代消防団長 石川清治 就任

救急自動車 (トヨタL・YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の救急自動車(トヨタ RH42VB - J)を廃車する。 消防無線機増設。移動局1基10W

長柄に詰所を新築する。(鉄骨平屋建、93.61 m²)

昭和62年(1987)

小型動力ポンプ(富士ロビン P303BS) C-1級1台を購入し、下山口に配置する。

下山口に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306)を廃棄する。 消防救急指令装置(富士通ゼネラル HA - 305) 無線統制台(富 士通ゼネラル RC - 6033)を導入し、運用開始する。

葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員 実員 38 名

昭和63年(1988)

第8代消防団長 矢島正治 就任

小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C - 1級 1台を購入し、長柄に配置する。

長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306)を廃棄する。

消防ポンプ自動車(ニッサン FGY60 改 BD - 型)A - 2 級 1 台を購入し、一色に配置する。

一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD - 型)を廃車する。

平成元年 (1989)

広報車(スバルレガシィ E - BF3 改)1 台を購入し、消防本部に 配置する。

消防本部に配置の広報車(ニッサンブルーバード L - VJ910 改)を廃車する。

小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C - 1級1台を購入し、一色に配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ(ラビット P502 - S)B - 2級を廃棄する。

小型動力ポンプ積載車(ダイハツ M - S80P 改)1 台を購入し、一色に配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF - 20 改)を廃車する。

消防ポンプ自動車(ニッサンT-FGY60 改)A-2級1台を購入し、 木古庭に配置する。

木古庭に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD - 型)A2級を廃車する。

防火水槽改修を行う。

消防無線機増設。移動局1基10W

平成2年(1990)

消防団車両9台に消防無線受令機を設置する。

救急自動車 (トヨタ U - LH129S) 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防無線機増設。移動局1基10W、携帯1基5W

小型動力ポンプ積載車(ダイハツ M - S82P 改)1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の小型動力ポンプ積載車(スズキキャリーH - L50 改) を廃車する。

消防ポンプ自動車(ニッサンT-FGY60改)A-2級1台を購入し、 上山口に配置する。

上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD - 型)を 廃車する。

消防ポンプ自動車 (三菱 U - FG337C 改) A - 2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FH61BD - 型)を 廃車する。

木古庭の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 177.493 m²)

第37回神奈川県消防操法大会に第3分団出場する。

消防職員 定員40名 実員40名

平成3年(1991)

第5代消防長 大竹二郎 就任

小型動力ポンプ積載車(ダイハツ M - S83P 改)1 台を購入し、上山口に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ積載車(スズキキャリーH - L50 改)を廃車する。

水槽付消防ポンプ自動車(いすず U - FRR32DBV 改)A - 2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車 (ニッサンディーゼル K - CM85C 改) を廃車する。

消防職員 定員 40 名 実員 40 名

平成4年 機構改革により消防本部に防災係を設置する。 (1992)防災車(トヨタ L - KE72V) 1 台を消防本部に配置する。 第38回神奈川県消防操法大会に第4分団出場する。 消防職員 定員 43 名 実員 43 名 平成5年 第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (1993)(出場種目 ほふく救出) 第 18 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 積載車(三菱 V - U42V 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車(三菱 M - U11V 改)を廃車する。 「甲部隊」「乙部隊」を「第1警備隊」「第2警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改) A - 2 級 1 台を購入し、 下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD -廃車する。 本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基 (5W×3 基、1W ×12基) 消防職員 定員43名 実員43名 平成6年 (1994) る。 葉山町防災行政無線増設。携帯2基5W

防災車(トヨタU-LH119V改)1台を購入し、消防本部に配置す

型)を

消防本部に配置の防災車(トヨタ L - KE72V)を廃車する。

第11回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第19回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第39回神奈川県消防操法大会に第5分団出場する。

消防無線更新。携帯3基5W

高規格救急自動車(トヨタZ-UZH132S)1台を購入し、消防署に 配置する。

消防署に配置の救急自動車(トヨタ L - YH71VB)を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z - FGY60) 1 台を購入し、長柄に配 置する。

長柄に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60)を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成7年 (1995)

第6代消防長 髙木太郎 就任

消防庁舎新築工事着工

兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)発生に伴い4名を派遣する。 (第1次派遣隊、第2次派遣隊共に兵庫県兵庫消防署へ派遣) 第 12 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第20回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

消防ポンプ自動車 (ニッサン Z - FGY60 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FJ60V 改)を廃車する。 教材用として葉山小学校へ寄贈する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成8年(1996)

新葉山町消防庁舎落成(11月24日 葉山町堀内2050番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上3階地下1階、救助訓練施設併設、延べ面積2,558.77㎡)

消防緊急通信指令装置 型(富士通ゼネラル H - 315)を整備し、 運用を開始する。

無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。

防火水槽(40 m 堀内)1基を設置する。

旧消防庁舎を解体する。

小型動力ポンプ (ラビット P380LM) C - 1 級 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級を廃棄する。

堀内に配置の小型動力ポンプ(トーハツ V15AS) C - 1 級を廃棄する。

小型動力ポンプ (ラビット P475S - DX・V) B - 3 級 1 台を購入し、 消防署に配置する。

消防署に配置の小型動力ポンプ(トーハツ V30AS)B-3級を廃棄する。

軽トラック (スバル V - KS4 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の軽トラック(ダイハツM-S664WD)を廃車する。 第13回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第 21 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ほふく救出)

第40回神奈川県消防操法大会に第6分団出場する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成9年(1997)

日本損害保険協会より救助工作車(ニッサンディーゼル KC - MK211EH 改)1台の寄贈を受け、消防署に配置する。

広報車(ミツビシ E - CD5W 改)1台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の指令車(ニッサンブルーバード E - U11 改)を 廃車する。

消防本部に配置の広報車(スバルレガシーE - BF3 改)を廃車す

る。

第 14 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、 ロープブリッジ渡過)

第22回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、

ロープブリッジ渡過)

消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 2 基 5W

消防無線全国波を導入する。

下山口の詰所を移転新築する。(鉄骨1階建、85.05㎡)

下山口に防火水槽(40 m³)1基、一色に防火水槽(20 m³)1基を 設置する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 10 年 (1998)

第7代消防長 本田恒雄 就任

葉山町女性防火防災クラブ発足 78名

第 15 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第23回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第41回神奈川県消防操法大会に第1分団出場する。

消防署に配置の救急自動車(トヨタL-YH71VB)を廃車する。

小型動力ポンプ(富士ロビン P380) C-1級1台を購入し、木古庭に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ(トーハツ V30AS)B-3級を廃棄する。

防火水槽(40 m³:下山口、一色 20 m³:一色2基、堀内、長柄) 6基を設置する。

葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。

消防本部1課(消防総務課)消防署2課(警備第1課、警備第2課)に改める。

小型動力ポンプ (ラビット P265M 型) D - 1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 11 年 (1999)

下山口に配置の小型動力ポンプ(富士ロビン P303BS) C - 1 級を 廃棄する。

第 16 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第24回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

上山口の詰所を新築する。(鉄骨2階建、延べ面積117.75㎡)

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 12 年 (2000)

第17回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ渡過)

第25回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

第42回神奈川県消防操法大会に第2分団出場する。

高規格救急自動車 (トヨタ GE - VCH32S) 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 13 年 (2001)

消防署に配置の救急自動車 (トヨタ U - LH129S) を廃車する。 第8代消防長 行谷正道 就任

一色の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 ㎡) 第 18 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

第26回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

消防ポンプ自動車(日野 KK - XZU371M 改) A - 2級1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車(三菱 U - FG337C 改)を廃車する。

湘南国際村内消火栓 8 基 (上山口 5 基、下山口 3 基)葉山町に帰属。

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 14 年 (2002)

第9代消防団長 伊東正悦 就任

第19回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

第27回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

第43回神奈川県消防操法大会に第3分団出場する。

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 15 年 (2003)

第 10 代消防団長 石井建一 就任

堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨2階建、延べ面積113.96 ㎡) 第20回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 ロープブリッジ救出)

消防ポンプ自動車(日野 KK - FD1JEEA 改)A - 2級1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすず U - FRR32DBV 改)を廃車する。

消防ポンプ自動車 (三菱 KK - FE73ECY) A - 2級1台を購入し、一

色に配置する。

一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改 BD - 型) を廃車する。

防災資機材搬送車 (ニッサン LC - VPE25) 1 台を購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の防災車(トヨタ U - LH119V 改)を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 16 年 (2004)

第9代消防長 石屋 博 就任

葉山町消防団 OB 会発足

第21回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第29回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、基本泳法)

第44回神奈川県消防操法大会に第4分団出場する。

高規格救急自動車(ニッサン TC - FPGE50 改)1 台購入し、消防本部に配置する。

消防本部に配置の高規格救急自動車(トヨタ Z - UZH132S)をパラオ共和国に贈与する。

消防ポンプ自動車(日野 KK - FD1JEEA 改) A - 2 級 1 台を購入し、 木古庭に配置する。

木古庭に配置の消防ポンプ自動車(いすず U - FRR32DBV 改)を廃車する。

2 交替勤務から3 交替勤務に移行する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 17 年 (2005)

第22回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第30回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

消防ポンプ自動車(日野 PD - XZU304E 改) A - 2級1台を購入し、 上山口に配置する。

上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン T - FGY60 改)を廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 18 年 (2006)

第 23 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第31回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん第2位入賞)

第45回神奈川県消防操法大会に第5分団出場する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 19 年 (2007)

第10代消防長 坂本光俊 就任

積載車 (ニッサン GBD U72TP) 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の積載車 (三菱 V U42V 改)を廃車する。

第24回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第 32 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

(出場種目 基本泳法 第 36 回消防救助技術関東地区指導会選出)

消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 20 年 (2008)

第25回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第33回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、基本泳法)

第37回消防救助技術関東地区指導会に出場する。

(出場種目 基本泳法)

第46回神奈川県消防操法大会に第6分団出場する。

消防ポンプ自動車(日野 BDG - XZU304E) A - 2級1台を購入し、 下山口に配置する。

下山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン Z - FGY60 改)を廃車する。

小型動力ポンプ積載車 (スバル EBD - TT2)1 台を購入し、一色に配置する。

一色に配置の小型動力ポンプ積載車(ダイハツ M - S80P 改)を廃車する。

下山口に防火水槽(40 m³)を設置する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 21 年 (2009)

第 11 代消防長 有馬 弘 就任

第 11 代消防団長 石井定裕 就任

第26回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第34回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、基本泳法)

消防緊急通信指令装置 型(富士通ゼネラル HA - 3000D)を整備し、運用を開始する。

高規格救急自動車(トヨタ CBF - TRH226S)1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の高規格救急自動車(トヨタ GE - VCH32S)を廃車 する。

消防ポンプ自動車(日野 BDG - XZU304E) A2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。

長柄に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z - FGY60 改) を廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 22 年 (2010)

第27回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第35回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん)

第47回神奈川県消防操法大会に第1分団出場する。

消防無線更新。携帯2基5W

水難救助艇 (アキレス SG - 140) 1 台を購入し、消防署に配置する。

日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車(ダイハツ EBD - S331W) 1 台の寄贈を受け、堀内に配置する。

堀内に配置の小型動力ポンプ積載車(ダイハツ M - S82P 改)を廃車する。

消防ポンプ自動車(日野 BDG-XZU304E)A - 2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。

堀内に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z - FGY60 改) を廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 23 年 (2011)

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生に伴い、緊急消防援助隊として消火隊2隊を派遣する。(第1次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区岡田地区、第2次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区蒲生地区へ派遣)

機動車 (ニッサン DBA-NT31)1台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の広報車 (三菱 E-CD5W 改)を廃車する。

機構改革により総務部総務課に防災係を設置する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 24 年 (2012)

第29回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

第37回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

第48回神奈川県消防操法大会に第2分団出場する。

(ポンプ車操法の部 第3位優秀賞)

救助工作車(日野 SDG-GX7JGAA 改)1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の救助工作車 (ニッサンディーゼル KC - MK211EH 改)を廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 25 年 (2013)

第 12 代消防長 小山正彦 就任

第 12 代消防団長 沼田慎一 就任

第 13 代消防長 髙梨 勝 就任

第30回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

第38回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出)

資機材搬送車(いすゞ TDG-NMS85AN)1台を購入し、消防署に配置する。

総務省消防庁より小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ EBD - S331W) 1台の無償貸与を受け、上山口に配置する。

上山口に配置の小型動力ポンプ積載車(ダイハツ M - S82P 改)を 廃車する。

消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 26 年 (2014)

第31回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第39回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第49回神奈川県消防操法大会に第3分団出場する。

高規格救急自動車(トヨタ CBF - TRH226S)1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の高規格救急自動車 (ニッサン TC - FPGE50 改)を 廃車する。

横須賀市三浦市葉山町2市1町による消防通信指令事務の共同運用に向けた「横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会」設置。(横須賀市・三浦市消防指令センターは平成25年4月より運用開始。)

消防職員 定員 48 名 実員 48 名

平成 27 年 (2015)

横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター運用開始。

消防救急デジタル無線(活動波・統制波・主運用波)運用開始。 予防係を予防課へ変更する。

第32回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

第40回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過)

CAFS付消防ポンプ自動車(モリタ TKG-XZU640M) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の消防ポンプ自動車(日野 KK - FD1JEEA 改)A-2 級を廃車する。

一色、長柄に消火栓1基、堀内に防火水槽(40 ㎡)1 基を設置す

る。

小型動力ポンプ(トーハツ VF-21BS 型)C-1 級 3 台を購入し木古庭、一色、長柄に配置する。

木古庭に配置の小型動力ポンプ(富士ロビン P380) C-1 級を廃棄する。

一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C-1 級を廃棄する。

長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級を廃棄する。

消防職員 定員49名 実員49名

平成 28 年 (2016)

第 14 代消防長 福本昌己 就任

第33回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん)

第 41 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)

第50回神奈川県消防操法大会に第4分団出場する。

下山口に消火栓2基、長柄に消火栓2基を設置する。

小型動力ポンプ(トーハツ VF-21BS 型)C-1 級 1 台を購入し消防署に配置する。

消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P475S - DX・V) B-3 級を廃棄する。

資機材搬送車(ニッサン EBD - DR16T)1台を購入し、下山口に配置する。

消防職員 定員52名 実員49名

平成 29 年 (2017)

長柄の詰所を移転新築する。(鉄骨 1 階建、延べ面積 122.42 ㎡) 第 34 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出)

第 42 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。

(出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、ほふく救出)

資機材搬送車 (ニッサン EBD - DR16T) 1 台を購入し、木古庭に配置する。

消防職員 定員52名 実員54名

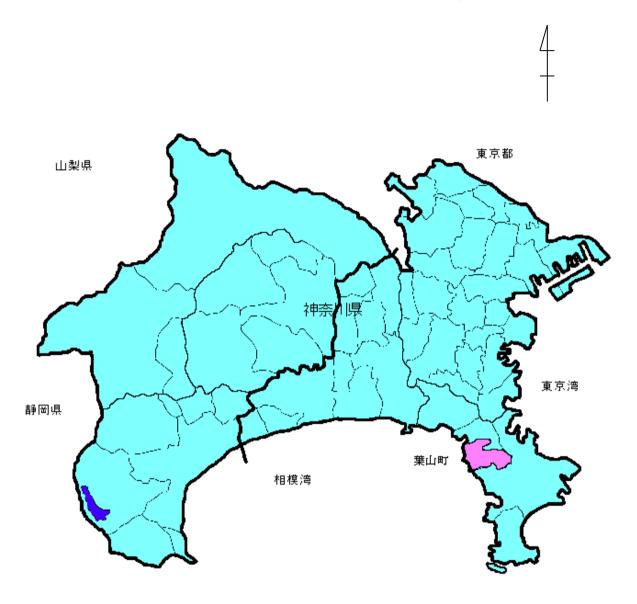
町勢



葉山町役場

位 置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50 k m圏にある。



葉山町役場の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地 位 置 北緯 35°16 08 東経 139°35 24 町 制 施 行 大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

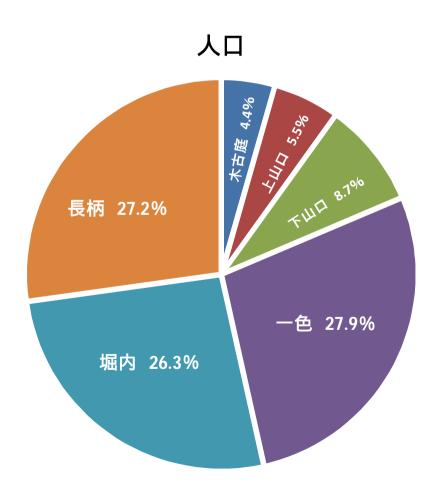
平成30.4.1現在

面積	人			世帯数
17.04 k m²	33,294人	男	15,831人	14,167世帯
17.04 K III	33,294人	女	17,463人	14,107 世帝

地区別情勢

平成30.4.1現在

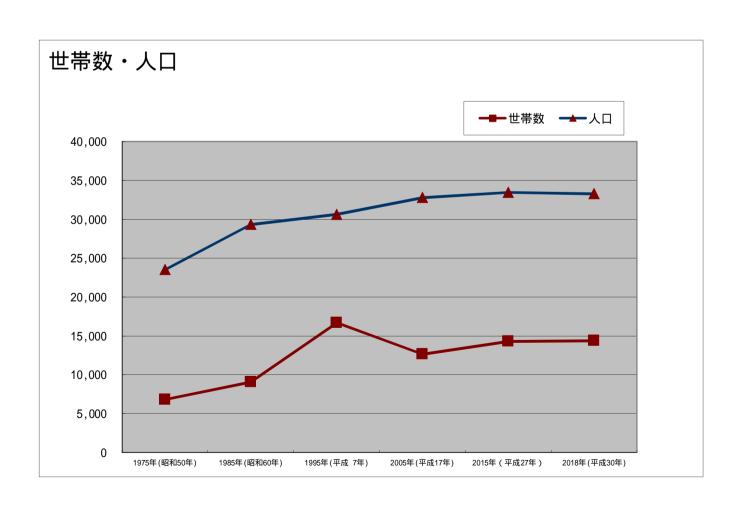
	Σ	☑分		人口		世帯数
			男	合計	(世帯)	
地	X		(人)	(人)	(人)	
木	古	庭	708	762	1,470	657
上	Щ	П	890	941	1,831	816
下	山	П	1,403	1,491	2,894	1,246
_		色	4,375	4,913	9,288	3,939
堀		内	4,149	4,603	8,752	3,836
長		柄	4,306	4,753	9,059	3,879
合		計	15,831	17,463	33,294	14,373



人口の推移

平成30.4.1現在

区分	世		人口		1 k m²	あたり
	帯数	男	女	合計	世帯数	人口
年	数 (世帯)	(人)	(人)	(人)	(世帯)	(人)
1975年(昭和50年)	6,821	11,413	12,107	23,520	400	1,380
1985年(昭和60年)	9,066	14,199	15,125	29,324	532	1,721
1995年(平成 7年)	16,688	14,688	15,947	30,635	979	1,798
2005年(平成17年)	12,647	15,619	17,182	32,801	742	1,925
2015年(平成27年)	14,299	15,836	17,619	33,455	839	1,963
2018年(平成30年)	14,373	15,831	17,463	33,294	843	1,954



消防情勢



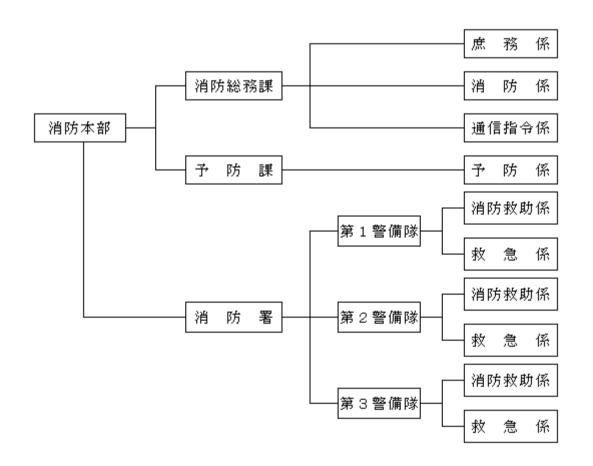
葉山町消防本部庁舎

消防本部・署・団設置

消防本部設置 昭和 43 年 3 月 29 日 消防署設置 昭和 45 年 4 月 1 日 消防団設置 昭和 22 年 7 月 19 日

消防本部・署の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10 位 置 北緯 35°16 05 東経 139°35 17 消防団本部の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10 位 置 北緯 35°16 05 東経 139°35 17

消防本部・署機構図



消防本部事務分掌

消防総務課

庶 務 係

- (1) 消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
- (2) 消防組織に関すること。
- (3) 条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
- (4) 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (7) 公印の管理に関すること。
- (8) 消防長の儀礼交際に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 公務災害補償等に関すること。
- (11) 消防出初式に関すること。
- (12) 消防の総括統計に関すること。
- (13) 消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
- (14) 消防団本部の庶務に関すること。
- (15) 消防団員等の訓練の企画及び調整に関すること。
- (16) 消防予算の執行管理の総括に関すること。
- (17) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (18) 被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (19) 消防署との連絡調整に関すること。
- (20) 消防長の庶務及び部内の連絡調整に関すること。

消防係

- (1) 火災に係るり災証明に関すること。
- (2) 搬送証明に関すること。
- (3) 各種催事に係る警備の企画及び調整に関すること。
- (4) 消防救助活動及び救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (5) 屋外の火災予防の総括に関すること。
- (6) 葉山町火災予防条例(昭和37年葉山町条例第8号)第45条(第3号及び第6号 を除く。)及び第45条の2に規定する届出に関すること。
- (7) 開発行為等の指導(葉山町まちづくり条例施行規則(平成 15 年葉山町規則第7号) 第2条第3号に規定する中高層建築物の建築を目的とする開発事業を除く。)に関 すること。
- (8) 消防地理及び消防水利の総括に関すること。
- (9) 街頭消火器の整備及び維持管理に関すること。
- (10) 消防車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (11) 消防力整備計画に関すること。

- (12) 消防対象物の警防計画に関すること。
- (13) 消防警防計画に関すること。
- (14) 消防相互応援協定等に関すること。
- (15) 緊急消防援助隊に関すること。
- (16) 消防車両の通行制限等の許認可申請に関すること。
- (17) 救急関連機関との調整に関すること。
- (18) 応急手当の普及の総合調整に関すること。
- (19) 救急車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (20) 救急統計に関すること。

通信指令係

- (1) 消防現勢及び消防年報に関すること。
- (2) 消防に係る気象観測に関すること。
- (3) 災害通報の受信及び指令に関すること。
- (4) 災害活動機関との連絡及び情報収集に関すること。
- (5) 警防支援情報等の収集、管理及び保護に関すること。
- (6) 消防通信施設の保守管理に関すること。
- (7) 消防通信の技術指導及び訓練に関すること。
- (8) 災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
- (9) 火災警報等に関すること。
- (10) 消防の総括統計に関すること。
- (11) 指令業務の共同運用に関すること。

予防課

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及及び調整に関すること。
- (2) 火災予防等の規定及び調整に関すること。
- (3) 建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
- (4) 防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
- (5) 防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
- (6) 火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
- (7) 葉山町火災予防条例に基づく届出及び指導(消防係で扱うものを除く。)に関すること。
- (8) 危険物施設の検査及び指導に関すること。
- (9) 液化石油ガス等に関すること。
- (10) 危険物取扱者に関すること。
- (11) 危険物施設の許認可に関すること。
- (12) 火災予防の総括(消防係で扱うものを除く。)に関すること。
- (13) 開発行為等の指導(消防係で扱うものを除く。)に関すること。
- (14) 火災の原因及び損害調査(消防署で扱うものを除く。)に関すること。

消防署事務分掌

消防救助係

- (1) 消防活動及び調査に関すること。
- (2) 救助活動に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査(防火対象物を除く。)に関すること。
- (4) 屋外の火災予防の踏査及び指導に関すること。
- (5) 消防地理及び消防水利の踏査に関すること。
- (6) 各種催事に係る警備の実施に関すること。
- (7) 消防救助活動に係る訓練の運用に関すること。
- (8) 消防団員等の訓練の運用に関すること。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (10) 消防本部との調整に関すること。

救 急 係

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 応急手当の啓発活動に関すること。
- (3) 救急活動に係る訓練の運用に関すること。
- (4) 救急車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。

消防本部・署・団情勢調

人口 33,294 人

世帯数 14,373 世帯

面積 17.04 Km²

平成30.4.1現在

	種別	消	防	本	部	•	署	消		[3]	<mark>ት</mark>		寸
区分		消	防 吏	員	消防力	ぱンプロ	自動車	消	防 団	員	消防力	゚゚゚゚゚ンプ゙゚゚゚゚	自動車
現	況		53人			2台			169人			6台	
細	別	消防吏	員1人	あたり	消防	車1台あ	たり	消防団]員1人	あたり	消防	車1台あ	たり
X	分	面積 (km²)	人口 (人)	世帯数(世帯)	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
平	均 値	0.3	628	271	8.5	16,647	7,187	0.1	197	85	2.8	5,549	2,396

消防本部・署・団・車両等一覧表

平成30.4.1現在

			II .
種別 車両	消 防 本 部 ・ 署	消 防 団	合 計
消防ポンプ自動車	2台	6台	8台
救助工作車	1台		1台
機動積載車	1台		1台
小型動力ポンプ積 載 車		3台	3台
小型動力ポンプ	1台	6台	7台
高規格救急自動車	2台		2台
機動車	1台		1台
指 揮 車	1台		1台
資 材 搬 送 車	2台	2台	4台
二輪車	2台		2台

庶 務 関 係



平成29年葉山町消防出初式

消防予算額

平成30年度

	款			項		目	金額 (千円)	比率(%)
						常備消防費	689,906	83.8%
消	7 1	費	消	防	費	非常備消防費	47,416	5.8%
月	防	貝	/FI	ŊΩ	貝	消防施設費	85,465	10.4%
						合 計	822,787	100%

町予算と消防予算の比

(単位:千円)

			年	度	平成30年度	平成 29 年度	平成 28 年度
X	分						
囲丁	総	予	算	額	9,675,000	9,485,900	9,339,000
消	防	予	算	額	822,787	553,572	607,240
比	率	(%)	8.5	5.8	6.5

消防費と人口・世帯の比

人 口 33,294人 世帯数 14,373世帯

平成30年度

		予	算額(千	1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)		
消	防	費	予	算	822,787	57,245	24,713
常	備	消	防	費	689,906	48,000	20,722
非	常	備 消	防	費	47,416	3,299	1,424
消	防	施	設	費	85,465	5,946	2,567
町	147 147	<u>-</u>	予	算	9,675,000	673,137	290,593

消防職員定員・実員

平成30.4.1現在

区分			階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消 防 士	事 務 吏 員	合計
定			員								52
実			員	1	6	9	5	20	12	2	55
再	任	用	者								0

消防職員年齢

平成30.4.1現在

年齢		_	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消 防 士	事務吏員	合計
18	~		20						2		2
21	~		25					3	7		10
26	~		30					13	3		16
31	~		35				1	4			5
36	~		40				4			1	5
41	~		45			4					4
46	~		50		3	5					8
51	~		55		3						3
56	~		60	1						1	2
60	歳	以	上						·		0
合			計	1	6	9	5	20	12	2	55
平	均	年	龄	56	51	46	36	29	23	48	35

消防職員勤続年数

平成30.4.1現在

	消	消	消	消	消	消	事	合
階級	173	防	防	防	防	77-	務	
勤続年数	司令	司	司令	士	副士	防	吏	
EDINC 1 XX	長	令	補	長	長	士	員	計
1 年 未 満						3		3
1年以上5年未満					1	9		10
5年以上10年未満					15			15
10年以上15年未満				3	4		1	8
15年以上20年未満				2				2
20年以上25年未満			4					4
25年以上30年未満		2	5					7
30年以上35年未満	1	3					1	5
35年以上40年未満		1						1
40 年 以 上								0
合 計	1	6	9	5	20	12	2	55

教育実施状況

平成29年度

教育種別	期間 H27年	人員	教育場所
初任教育 第213期	H29/4/10 ~ 9/29	6	神奈川県消防学校
特別教育 操法指導員研修(ポンプ車)	H29.5.24	2	神奈川県消防学校
専科教育 救助科	H29/10/10 ~ 11/7	1	神奈川県消防学校
専科教育 警防科	H29/10/16 ~ 10/27	1	神奈川県消防学校
専科教育 救急科(第2回)	H29/10/16 ~ 12/22	5	神奈川県消防学校
専科教育 火災調査科	H30/1/15 ~ 1/26	1	神奈川県消防学校
特別教育 救急救命士	H30.2.9	1	神奈川県消防学校
専科教育 予防査察科	H30/2/7 ~ 2/21	1	神奈川県消防学校
特別教育 特別救助隊	H30/2/19 ~ 2/23	1	神奈川県消防学校
総合教育 幹部科	H29/8/22 ~ 10/6	1	消防大学校

特殊技能資格者

平成30.4.1現在

	-11. 4-	消	消	沿	洪	泛水	У Ш	_	
資 格	階 級	防司令長	防 司	消防司令	消 防 士	消防副士	消防防	事 務 吏	心
ļ		長	令	補	長	長	土	員	計
大型	特殊			1					1
大	型	1		3	1	5		1	11
自動車運転中型一				2	4	10			16
	8t 限定		6	3				1	10
普	通					5	7		12
乙 種 危 険 物	4 類		2	8	5	20	6		41
丙	種	1	4	2	1				8
消防設備点検資材	各第1種		1	2	2				5
点 検 資 格 者 点検資材	各第2種		1	3	2				6
可搬消防ポンプ等整備	資 格 者	1		1		2			4
第 1 、 2 、 3 級 陸 上 特 殊 無	線 技 士	1	7	9	5	20	2		44
ガース溶接技	能者	1	5	5			1		12
小型クレーン技	能者			4	5	12			21
玉 掛 技 能	者			4	5	12			21
1 級 小型 船 舶 操	縦 士		1	1					2
2 級 小型 船 舶 操	縦 士		2	4	3	2		1	12
2 級 ガ ソ リ ン 自 動 車 🖁	整備士	1							1
3 級 自 動 車 ガ ソ リ ン エ ン ジ ン	火整備士	1							1
3 級 自 動 車 シャ シ 繋	整備士	1							1
3 級 自 動 車 ジ ー ゼ ル エ ン ジ ン	/ 整 備 士	1							1
第二種酸素欠乏危険作業	主任者			1	1	1			3
特定化学物質等作業	主任者			1					1
毒物劇物取扱責	任者					1			1
応 急 手 当 指	導 員	1	6	9	5	19			40
救 急 救 命	±		2	7		3	2		14
ア マ チ ュ ア 無 線	技 士		1	2					3

警防関係



平成29年11月 葉山御用邸合同消防訓練風景

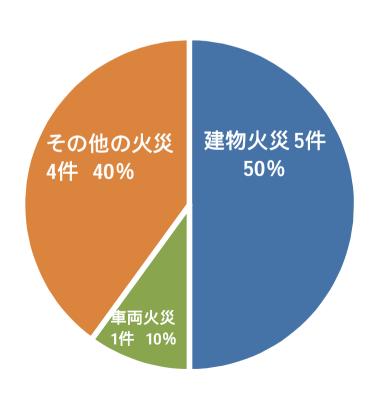
火災概況

平成29年中

火	災 件 数	10件
火	建物火災	5件 内訳(全焼1件、部分焼2件、ぼや2件)
X	林 野 火 災	
災	車両火災	1件
種	船舶火災	
別	航空機火災	
773	その他の火災	4件
焼	損 面 積	282㎡
損	害 見 積 額	16,754千円
罹	災 世 帯 数	7世帯
死	傷 者 数	4人 内訳(死者1名、負傷者3名)

火災別比較

平成29年中



区分	火災種別		出火原因	十成29年中
件数	火火性 別	発火源	経過	着火物
1	その他の火災	枯れ草焼き	火源が動いて 接触する	芝草
2	その他の火災	不明	不明	その他
3	その他の火災	ローソク	火源が動いて 接触する	その他
4	車両火災建物火災	不明	不明	不明
5	建物火災	不明	不明	不明
6	建物火災	薰煙殺虫剤	引火する	LPG (スプレー用)
7	建物火災	白熱灯スタンド	高温物が触れる	畳
8	建物火災	ガステーブル	放置する、忘れる	動植物油類
9	建物火災	ガスバーナー	引火する	その他
10	その他の火災	たき火	残り火の処置が 不充分	落葉

豆 八			, ,	⟨⟨⟨ 1 :	€Dil			-	与土									7-	+ # <i>I</i> m	, , ((1		+=	ф р 13		,29 十 中
区分		1	<u> </u>	災種	型力リ	1	n	<i>9</i> 51	易者										建物:		<u> </u>						林	そ		摂	害見種	貝餠	1
					航	そ			負			ţ	尭損	棟数	女			罹災	災世帯	帯数	罹		烰	損面	積		野	の	建	物		そ	
	建	林	車	船			合	死			火テ	₹棟			延灼	克数		^	N/	, ls	災	^	MZ	部	(-)		焼	他焼	7-11	収	車	ر	合
						の			傷	全	半	部	ぼ	全	半	部	ぼ	全	半	小	人	全	半	分	ぼ	合	損	損	建	容		の	
	物	野	両	舶	機	他	計	者	者			分				\triangle		損	損	損	員	焼	焼	焼	ゃ	計	面	面	物	物	両	他	計
月										뀼	뀼	焼	2	炕	焼	焼	2				貝			が			積	積		190			
1						1	1																					73					
2						2	2																										
3																																	
4																																	
5																																	
6			1				1																								500		500
7																																	
8	2						2	1	1	1		1				2		1		4	9	137		10		147			2,707	630	130		3,467
9																																	
10	1						1						1							1	2												
11																																	
12	2					1	3		2			1	1							1	4			62		62			12,787				12,787
合計	5		1			4	10	1	3	1		2	2			2		1		6	15	137		72		209		73	15,494	630	630		16,754
(単位)	件	件	件	件	件	件	件	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	世帯	世帯	世帯	人	m²	m²	m²	m²	m²		m²	千円	千円	千円	千円	千円

	_																																		出火率 (件)
	平	成	24	年	3			1	4			1	1		1	1				1		1	2	225	32			257		3,709	28,802			32,511	1.2
過	平	成	25	年	3			3	6		1		2	1	1						1		2		65.96	9.13		75.09	27.59	6,593				6,593	1.8
五 5	平	成	26	年	6			4	10	1	3	1		1	4			1	5	1		12	31	114		30	1.2	145.2	334.7	19,756				19,756	2.9
年	平	成	27	年	5		1	1	7		2	2			3			4	2	2		17	40	236.07		101.354	0.5262	337.95	0.105	29,540	8,779		312	38,631	2.1
	平	成	28	年	6	1			7	2	1	2		1	3	1	2	3		6		6	37	385	63	11	1	460		59,870	7,487	476		67,833	2.1

火災覚知方法時間別状況

		-		ī					平成29年中
時		党知	一 一 九 番	加 入 電 話	事 後 聞 知	か け つ け	巡回中発見	そ の 他	合計
0	~	1	1						1
1	~	2	<u> </u>						
2	~	3							
3	~	4							
4	~	5							
5	~	6	1						1
6	~	7							
7	~	8			1				1
8	~	9	1						1
9	~	10							
10	~	11							
11	~	12						1	1
12	~	13	1						1
13	~	14	2						2
14	~	15							
15	~	16							
16	~	17							
17	~	18							
18	~	19							
19	~	20							
20	~	21	1		1				2
21	~	22							
22	~	23							
23	~	24							
合		計	7		2			1	10

地区別火災発生状況

										平成29年中
	地区	<u> </u>	単	木	上	下	_	堀	長	合
_			位	古 庭	Щ	Ш	色	内	柄	計
	分									
出	火 件	数	件	1				7	2	10
	建	物	件	1				4		5
	林	野	件							
内 訳	車	両	件					1		1
訳	船	舶	件							
	航 空	機	件							
	そ の	他	件					2	2	4
焼	損 棟	数	棟	1				6		7
	全	焼	棟					1		1
内	半	焼	棟							
内 訳	部 分	焼	棟	1				3		4
	ぼ	ゃ	棟					2		2
建物	加焼 損 面	積	m²	62				147		209
林野	牙 焼 損 面	積	а							
その	他焼損面	〕積	m²						73	73
罹	災世帯	数	世帯					7		7
	全	損	世帯					1		1
内 訳	半	損	世帯							
	小	損	世帯					6		6
罹	災人	員	人					15		15
火	災損害	額	千円	12,764				3,990		16,754
	建	物	千円	12,764				3,360		16,124
	林	野	千円							
内	車	両	千円					630		630
内 訳	船	舶	千円							
	航 空	機	千円							
	そ の	他	千円							
	I .		Ī.				l e	l e	ı	1

時間別火災発生状況

	Σ	☑分		建	物			建以	建面	林面	そ焼	損見
			全	半	部	ぼ	合	外	物	野	損 の_	積
			±.	+	分	ız	÷⊥	の 火	焼	焼	面	
時間	`		焼	焼	焼	ゃ	計	物災	損積 (㎡)	損積 (a)	他積 (㎡)	害額 (千円)
0	~	1						1	(111)	(a)	(111)	(113)
1	~	2										
	~	3										
2												
3	~	4										
4	~	5	4						4.40			0.054
5	~	6	1		2		3		143			3,351
6	~	7										
7	~	8				1	1					23
8	~	9						1				
9	~	10										
10	~	11										
11	~	12						1				500
12	~	13						1				
13	~	14			1		1	1	62		73	12,764
14	~	15										
15	~	16										
16	~	17										
17	~	18										
18	~	19										
19	~	20										
20	~	21			1		1		4			116
21	~	22										
22	~	23										
23	~	24										
不		明				1	1					
合		計	1		4	2	7	5	209		73	16,754

消防署の消防車両等の出場状況

		_	,				,	,		,	,		1 7-70	29 十 十
Ш	月場場	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	件数	1	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	3	10
火 災	出場台数	5	5	0	0	0	3	4	10	0	0	0	13	40
	出場人員	14	13	0	0	0	9	14	78	0	0	0	55	183
	件数	0	0	1	2	2	1	1	3	1	0	4	2	17
救 助	出場台数	0	0	7	7	7	3	3	14	4	0	15	9	69
	出場人員	0	0	19	21	18	8	8	98	11	0	38	40	261
危	件 数	1	3	0	0	1	2	3	2	3	0	1	1	17
危 険 排 除	出場台数	4	6	0	0	2	4	10	5	6	0	2	3	42
际	出場人員	12	12	0	0	4	10	25	14	16	0	4	9	106
	件 数	3	3	1	0	2	1	0	1	1	1	0	1	14
偵 察	出場台数	4	6	1	0	4	2	0	2	2	2	0	2	25
	出場人員	11	17	4	0	8	5	0	5	5	5	0	5	65
	件 数	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	0	1	6
調 査	出場台数	0	0	0	0	2	0	0	1	1	4	0	2	10
	出場人員	0	0	0	0	6	0	0	3	2	8	0	4	23
Р	件数	11	9	7	8	6	6	8	9	6	10	12	16	108
A 連 携	出場台数	21	18	15	16	12	10	15	16	12	19	22	30	206
	出場人員	53	45	39	40	30	24	37	38	30	47	54	74	511
	件 数	16	17	9	10	12	11	13	18	12	13	17	24	172
合 計	出場台数	34	35	23	23	27	22	32	48	25	25	39	59	392
	出場人員	90	87	62	61	66	56	84	236	64	60	96	187	1,149

消防署出場件数前年比較(28年中·29年中)

1 火災出場

1	<u>т</u> / ()СЩ	// 4					
	種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	管外火災	合 計
	平成28年中	4	1	0	1	0	6
	平成29年中	5	1	0	4	0	10
	比 較	1	0	0	3	0	4
		ward the party of the last of	Contract of the Contract of th	Section .	"Garage	William .	

火災件数

-	- 1 1 / / /			Vite.	***************************************	
	種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	合 計
	平成28年中	6	1	0	0	7
	平成29年中	5	1	0	4	10
	比 較	△ 1	0	0	4	3

2 救助出場

<u> </u>	///						
種別 区分	火	災	交通事故	水難事故	建物等に よる事故	その他	合 計
平成28年中		3	4	7	7	9	30
平成29年中		3	1	2	3	8	17
比 較		0	\triangle 3	\triangle 5	\triangle 4	△ 1	△ 13

3 その他出場

	4 ***					
種別 区分	危険排除	偵	察	その他	合	計
平成28年中	10		14	0		24
平成29年中	17		14	3		34
比 較	7		0	3		10

4 救急支援出場

種別 区分	特定	救命	多数	合計
平成28年中	23	51	0	74
平成29年中	28	80	0	108
比 較	5	29	0	34

救急支援 (特定) 内訳

谷戸高台	1	隊員保護	0	救急	葉山対応	3
中高層	1	繁華街	0	隊	逗子対応	8
交通	0	署所直近	0	遅延	横須賀対応	4
自動車専用道路	0	その他	#		合計	28

5 調査出場

種別区分	火災 (後聞)	風水害	その他	合 計
平成28年中	3	9	2	14
平成29年中	2	3	1	6
比 較	△ 1	\triangle 6	△ 1	△ 8

6 救急出場(事故種別)件数

	7 秋心山。	勿(尹)	叹 俚 们	<u> / 十多</u>	X.											
	種別	急病	一般	交通	移送	自損	加生	運動	労災	火災	自然	水難	医師	資材	その	合
	区分	心ূ	負傷	事故	炒区	行為	加害	競技	事故	事故	災害	事故	搬送	搬送	他	計
7	平成28年中	1057	312	102	47	3	8	8	19	8	1	10	0	0	10	1585
7	平成29年中	1115	332	89	76	5	4	6	9	6	0	3	0	0	3	1648
	七 較	58	20	△ 13	29	2	\triangle 4	\triangle 2	△ 10	\triangle 2	\triangle 1	\triangle 7	0	0	\triangle 7	63

7 救急隊別出場件数

· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	7 7 1 7/2 			
種別 区分	第1救急隊	第2救急隊	その他車両	合計
平成28年中	1300	285	0	1585
パーセント	82.0%	18.0%		
平成29年中	1305	343	0	1648
パーセント	79. 2%	20.8%		
比 較	5	58	0	63

8 応援状況

(1) 火災救助等受援件数

(1)	1 7 1 12 13 17 1 12 142 1 1 1 22 1											
	市	逗子市から葉山町			横須賀市から葉山町			横浜市から葉山町				
区分		火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他		
平成2	8年中	0	1	0	3	0	0	0	1	0		
平成2	9年中	2	0		1	0	0	0	0	0		
比	較	2	\triangle 1	0	\triangle 2	0	0	0	\triangle 1	0		

(2) 火災救助等応援件数

		葉山	町から返	豆子市	葉山町	葉山町から横須賀市			葉山町から横浜市			
	区分	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他		
	平成28年中	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
	平成29年中	0	5	0	0	0	0	0	0	0		
Γ.	比較	0	4	0	0	0	0	0	0	0		

(3) 救急受援件数

区分	方 、	逗子市から葉山町	横須賀市から葉山町	ドクターへリ
平成28年	中	14	26	0
平成29年	中	12	37	0
比	較	\triangle 2	11	0

(4) 救急応援件数

区分	市 //	葉山町から逗子市	葉山町から横須賀市
平成2	8年中	7	0
平成2	9年中	10	1
比	較	3	1

平成29年中 出場件数

		1 1 334 1 1 33 4					
		火災種別	出場	·件数	合	計	
		建物火災		5			
火	災 出 場	車 両 火 災		1	1	0	
		林 野 火 災		0	10	.0	
		その他火災		4			
		火災種別	出場	·件数	合	計	
応	援火災出場	人 火 相 加		0			
				·			
İ		事故種別	出場件数	活動件数			
					出場	活動	
		火災	3	2			
		交 通 事 故	1	1			
14	, ml. ili l.A	水難事故	2	1			
狄	:助出場	風水害等自然災害事故	0	0	1.7	10	
		機械による事故	0	0	17	12	
		建物等による事故	3	2			
		ガス及び酸欠事故	0	0			
		破裂事故	0	0			
		そ の 他	8	6			
		その他分類	出場	·件数	合	計	
		危 険 物		8			
		火 気 取 扱	0				
		風害水害		8			
	危険排除	水		0	1	7	
	/EBC17FBN	山崩れ		0	- - -	•	
		ガ ス		0			
		電気		0	合 - - - - - - - - - - - (
その		その他(危険排除)		1			
		放射性物質等		0			
他	Ī	导·劇物(B·C災害)		0	(0	
出		危険物施設等		0			
場	警戒	核燃料物質等	_	0	(0	
		ドクターへリ		0			
		その他(警戒)		0 5			
		怪煙		3			
				0			
	偵 察	<u> </u>		2	1	4	
		<u> </u>		3			
		その他(偵察)		1	合 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		
	1						
		出場種別		件数	合	計	
救急支援出場		特 定		28		0.0	
<i>7</i> (,		救 命		80	10	08	
		多数	1	0			
		調査種別	出場	件数	合	計	
⇒ın	1 ** 111 11 9		2				
調	直出場	火 災 (事後聞知) 風 水 害 (調 査)		3	(6	
		その他(調査)		1			

山中救助概要

発生年	26年	27年	28年	29年	合計		
発生件数	8	4	6	6	24		
うち ヘリ救助件数		1	1		2		
日中件数	日中件数 4		4	5	16		
夜間件数	4	1	2	1	8		
救助人員	救助人員 11		助人員 11		6	6	29
救急搬送者数		1	2	1	4		

年別 所要時間(覚知~ 救出完了)件数

所要時間	_	発生年	26年	27年	28年	29年	合 計
	~	30分					
30分	~	1時間	4		2	3	9
1時間	~	1時間30分	1		1	2	4
1時間30分	~	2時間	1	2			3
2時間	~	2時間30分		1			1
2時間30分	~	3時間			1		1
3時間	~	3時間30分	1		1		2
3時間30分	~	4時間			1	1	2
4時間	~	4時間30分					
4時間30分	~	5時間					
5時間	~	5時間30分		1			1
5時間30分	~	6時間			_		_
6時間	~	6時間30分					
8時間	~	8時間30分	1				1
合		計	8	4	6	6	24

消防本部・署現有車両機械

平成30.4.1現在

用途	車両	登録		原	動機ポン!	プ		無線
用逐	会社名	年月日	エンジン	気筒容積	ポンプ	ポンプ	ポンプ	呼出名称
			社名	(CC)	社名	型式	級別	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	平成27年 12月7日	日野	4,000	モリタ	1段 ボリュート式 ポンプ	A-2	はやましき ぽんぷ1
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	平成13年 11月19日	日野	4,890	畠山 ポンプ	2段 バランス タービン	A-2	はやま ぽんぷ2
救助工作車	日野	平成25年 2月4日	日野	6,400				はやま きゅうじょ1
機動積載車	ニッサン	平成19年 8月29日	ニッサン	650				はやま きどう1
救急自動車	トヨタ	平成21年 9月15日	トヨタ	2,690				きゅう きゅう はやま1
救急自動車	トヨタ	平成26年 11月26日	トヨタ	2,690				きゅう きゅう はやま2
機動車	ニッサン	平成23年 6月15日	ニッサン	1,990				はやま きどう2
指 揮 車	ニッサン	平成15年 7月28日	ニッサン	1,990				はやま しき1
資機材搬送車	いすゞ	平成25年 8月21日	いすゞ	2,990				はやま しざい1
資 材 車	ニッサン	平成26年 7月30日	ニッサン	650				はやま しざい2
二輪車	ホンダ	平成5年 9月9日	ホンダ	90				
二輪車	ホンダ	平成9年 7月28日	ホンダ	50				
小型動力 ポンプ		平成28年 3月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1	

警防用機器資材

平成30.4.1現在

用途				一般求			重量物	排除用				
名称	かぎ付はしご	三連はしじ	ワイヤー はしじ	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サー バイバー スリング	平担架	マンホー ル救助器具	救助用簡易起重機	油圧救助器具(スプレッ ダー)	救助用油圧ジャッ キ
数 量	3	3	2	1	1	8	2	3			3	2

用途	重量	重量物排除用						切断用			
名称	可搬式ウィンチ	マッ ト型空気ジャッ キ	チェー ンブロック	油圧救助器具(カッター)	エアー ソー	エンジンカッ ター	電動カッター	酸素溶断機	チェー ンソー	鉄筋カッ ター	
数量	6	1	2	1	2	3	1		4	9	

用途		測定用								用		
名称	複合ガス検知器 (酸素濃度測定器含む)	放射能測定器 (ポケッ ト含む)	有毒ガス測定器	ポッケッタブルマルチガスモニター	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマー ドリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	
数 量	3	26	1			1	2	19			6	

用途		隊員保護用										
名称	送排風機一式	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服 (簡易防護服含む)	防毒衣		
数 量	1	15	2	2	2		5	2	36			

用途		水難救助用				画像探索機				その他			
名称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボー ト	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファ イバー スコー プ 型	画像探索機型	除染設備一式	ワンタッ チテント	エアー テント	画像伝送装置一式	
数 量		42	1	1	1			1			1		

消防水利現勢

平成30.4.1 現在

		地区	木	上	下	_	堀	長	合
			古	Щ	山				
種	別		庭			色	内	柄	計
	消 火 栓	公設消火栓	28	59	39	120	112	86	444
公設消防水利		20 m³ 以 上 40 m³ 未 満			1	6	4	2	13
防 水 利	防 火 水 槽	40 m 以 上 100 m 未 満	1	14	6	12	16	15	64
		防火水槽小計	1	14	7	18	20	17	77
	消 火 栓	私設消火栓			1	1		1	3
		20 m ³ 以 上 40 m ³ 未 満	1	4	3	8	9	1	26
指	防火	40 m³ 以 上 100 m³ 未 満	2	9	2	20	17	2	52
指定消防水	防 火 水 槽	100 ㎡ 以 上		1			1	1	3
水利		防火水槽小計	3	14	5	28	27	4	81
	そ の 他	プ ー ル		1		1	3	2	7
	他	その他小計		1		1	3	2	7
合		計	32	88	52	168	162	110	612

空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果

平成29年度

地区		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り)
	繁茂状況調査	5	0	5
★十庁	第1回刈取り調査	0	0	0
木古庭	第2回刈取り調査	0	0	0
	最終刈取り調査	0	0	0
	繁茂状況調査	7	0	7
上山口	第1回刈取り調査	0	0	0
ТШН	第2回刈取り調査	0	0	0
	最終刈取り調査	0	0	0
	繁茂状況調査	5	2	3
下山口	第1回刈取り調査	2	1	1
гщн	第2回刈取り調査	1	0	1
	最終刈取り調査	0	0	0
	繁茂状況調査	24	11	13
一色	第1回刈取り調査	11	7	4
6	第2回刈取り調査	7	2	5
	最終刈取り調査	2	2	0
	繁茂状況調査	18	5	13
堀内	第1回刈取り調査	5	3	2
<i>ካ</i> ଘ / ህ	第2回刈取り調査	2	0	2
	最終刈取り調査	0	0	0
	繁茂状況調査	29	11	18
長柄	第1回刈取り調査	11	6	5
TX 1173	第2回刈取り調査	6	5	1
	最終刈取り調査	5	3	2
	繁茂状況調査	88	29	59
合計	第1回刈取り調査	29	17	12
	第2回刈取り調査	16	7	9
	最終刈取り調査	7	5	2

過去3年枯草繁茂状況

調査年度		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り)
28年度	繁茂状況調査	87	47	40
20十反	最終刈取り調査	11	10	1
27年度	繁茂状況調査	102	59	43
21 牛皮	最終刈取り調査	14	11	3
26年度	繁茂状況調査	100	53	47
20牛皮	最終刈取り調査	20	17	3

注)調査対象は以下の基準に該当した空地に繁茂する枯草。

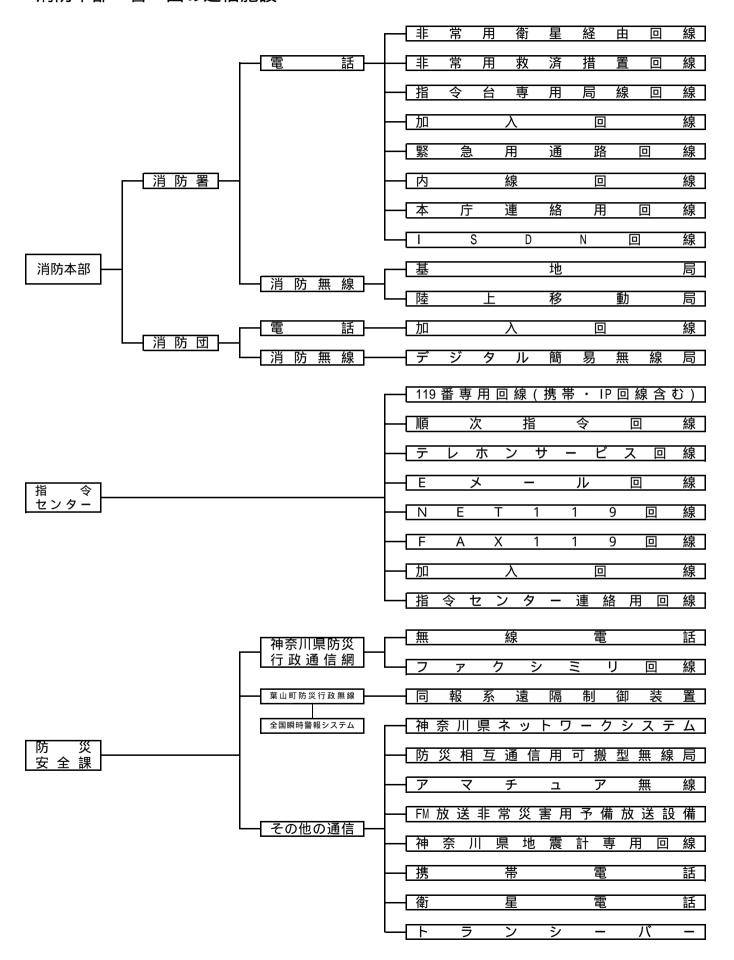
- 1. 建築物及び危険物施設等から10メートル以内に繁茂し、かつ高さが50センチ以上である場合。
- 2. 宅地造成地内に繁茂する枯草で、高さが50センチ以上である場合。
- 3. その他、特に火災予防上危険である場合。
- 4. 各調査の結果により、繁茂が確認された空地所有者に対し指導通知を行う。

指 令 関 係



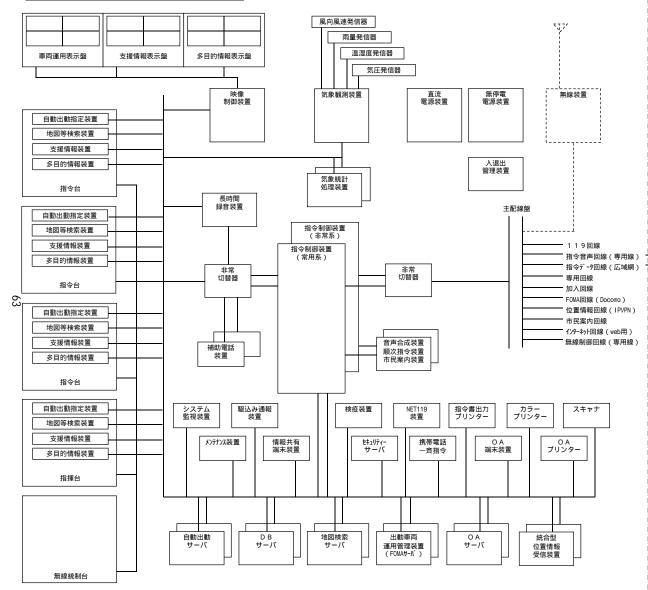
横須賀市・葉山町消防指令センター

消防本部・署・団の通信施設

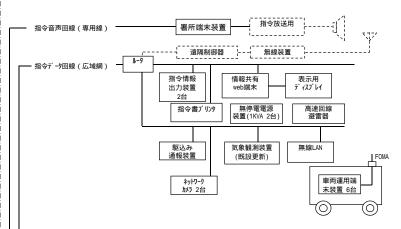


消防通信システム系統図

横須賀市・葉山町消防指令センター



葉山町消防本部・消防署



消防本部・署・指令センター回線一覧表

平成30.4.1現在

	種別	数量	種別	数量
指	119 番 専 用 回 線(携 帯 ・ IP 回 線 含 む)	9	非常用衛星経由回線	1
担	順次指令回線	8	非常用救済措置回線	2
令	テ レ ホ ン サ ー ビ ス 回 線	10	指令台専用局線回線	2
セ	E メ ー ル 回 線	1	戦 緊急用通路回線(着信専用)	1
ン	N E T 1 1 9 回 線	1	I S D N回線(県所有1回線含む)	2
タ	F A X 1 1 9 回 線	1	室電話交換装置	1
١,	加入回線	1	主 配 線 盤 (M D F)	1
	指令センター連絡用回線	1		
消防	加入回線(ダイヤルイン・多機能)	6		
本 部	内 線 回 線	66		
· 署	本庁(役場)連絡用回線	6		

消防本部・署・指令センター通信機器一覧表

1 指令情報施設(消防本部・署)

平成30.4.1現在

名称	数	量	名称	数	量
受令端末装置	1	台	駆込通報装置	1	台
指令情報出力装置	2	台	風向風速発信器	1	式
情報共有WEB端末	2	台	雨量発信器	1	式
表示用液晶ディスプレイ	4	台	気象総合変換器	1	式
無停電電源装置	2	台	GPS時計装置	1	式
高速回線避雷器	1	式	気象データ処理装置	1	台
高速電源避雷器	2	式	車両運用端末装置	6	台
ネットワークカメラ	2	台			

2 指令情報施設(指令センター)

平成30.4.1現在

	名称	数	=		名称	数	量
	指令台	6	上 台		車両運用表示盤	4	<u>-</u>
	自動出動サーバ	1	台		支援情報表示盤	4	面
	データベースサーバ	1	台	表示	映像制御PC	1	台
	自動データメンテナンス装置	1	台	小盤	多目的情報表示盤	4	面
	表示盤接続用端末装置	3	台	<u> </u>	システム制御装置	1	台
	事案管制装置	3	台		映像操作タッチパネルPC	1	台
	多目的情報表示装置	3	台	駆让	 ∆通報装置受付用PC	1	台
指	自動出動指定装置	3	台	駆让	込通報装置受付用電話機	1	台
令装	地図検索サーバ	2	台	気象	象データ処理装置	2	台
置	地図データメンテナンス装置	1	台	順次	欠指令装置	1	台
	地図検索装置	3	台	音声	^告 合成装置	1	台
	長時間録音装置	1	台	シブ	ステム監視装置	1	台
	非常用指令設備	1	式	無係	亨電電源装置	2	式
	指令制御装置	1	式	直流	流電源装置	1	式
	指令メンテナンスサーバ	1	台	携吉	带電話一斉指令装置	1	台
	データメンテナンス装置	1	台	高速	速電源避雷器	2	台
	携帯電話・IP電話受信転送装置	4			速回線避雷器	100	回線
	指揮台	2	台	N E	E T 1 1 9 クライアント	1	台
指	事案管制装置	1	台	無約	泉統制台 統制席	1	台
揮	多目的情報表示装置	1	台	無約	泉統制台 個別席	7	台
台	自動出動指定装置	1	台	位置	置情報受信サーバ	1	台
	地図等検索装置	1	台				
指令	自動出動サーバ	1	台				
電送装置	ウイルス対策サーバ	2	台				
装置	検疫 P C	1	台				

無線局配置状況

基地局

平成30年4月1日現在

呼出名称	空中線電力(\))	摘要
葉山消防	8	1CH(消防波)2CH(救急波) 送受信所:葉山町消防本部内 通信所:横須賀市消防局内

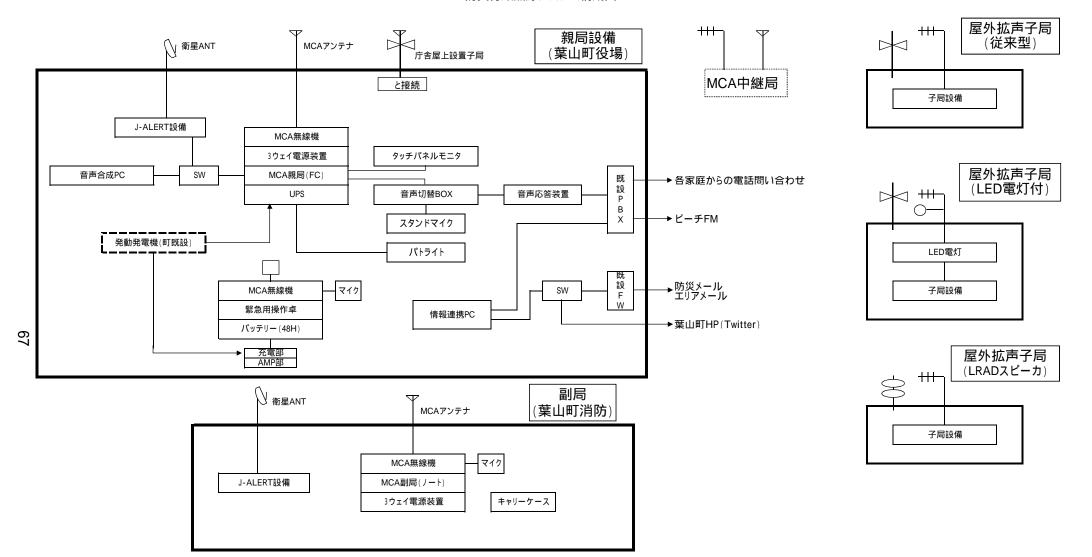
___ 陸上移動局

呼出名称	空中線電力(\)	形態
葉山広報 1	5	可搬型
葉山指揮本部 1	5	"
葉山指揮 1	5	車載型
葉山指揮ポンプ1	5	"
葉山ポンプ 2	5	"
葉山救助 1	5	"
救急葉山 1	5	"
救急葉山 2	5	"
葉山機動1	5	"
葉山機動 2	5	"
葉山資材 1	5	"
葉山資材 2	5	"
葉山指揮101	2	携帯型
葉山指揮ポンプ101	2	"
葉山ポンプ201	2	"
葉山救助101	2	"
救急葉山101	2	"
救急葉山201	2	"
葉山機動101	2	"
葉山機動201	2	<i>II</i>
葉山資材101	2	<i>II</i>
葉山資材201	2	<i>II</i>
葉山101	2	<i>II</i>

陸上移動局(署活系無線)

葉山指揮301~303	1	携帯型
葉山指揮ポンプ301~304	1	"
葉山ポンプ301~304	1	"
葉山救助301~304	1	"
救急葉山301~304	1	"
葉山301、302	1	

防災行政無線システム構成図



防災通信機器等一覧表

1.通信施設

(1)葉山町防災行政無線

平成30.4.1現在

種	É	別	台数		設		置		場		所	
	親	局	1式	役	場	防	災	行	政	無	線	室
固定系	副	局	1式	消	防 作	戦 室	(防災	行 ī	政 無	線室)
	子	局	33台	町		内		各		箇		所
移動系	車載局・可搬局	・携帯局	30台	衫	足場・き	S学校 ·	その)他関係	機関等	等(次	頁参照)

(2)神奈川県防災行政通信網

平成30.4.1現在

種	別	設	置	場	所		台数	佰	ŧ									考
無線電	電話	消防本	部・	署	・役	場	12台	各		関	係	部	署	15	=	配		置
ファクシ	ノミリ	消防作戦	室・政	策財政	部財政	ク 課	2台	消	防	本	部か	5 :	役 場	ま	で	は	有	線

ア.無線電話配置場所及び番号

平成30.4.1現在

設 置 場 所	番号	設 置	場	所	番	号
消防本部消防総務課長	9 2 0 1	消防	作 戦	室	9 2	0 9
消防長室	9 2 0 2	政 策 財 政	改 部 財	政 課	9 3	0 6
災害対策本部室	9 2 0 3	都市経済	部産業振	興課	9 3	0 7
消防本部予防課長	9 2 0 4	都市経済	部道路河	川課	9 3	8 0
消防作戦室(防災行政無線室)	9 2 0 5	FAX(消防作戦	室)	9 2	0 0
消防署長	9 2 0 6	F A X (政	(策財政部財政	文課)	9 3	0 0

2. その他通信機器等

平成30.4.1現在

種	別	設	置	場	所	台数			備							考	
県ネットワー	クシステム	消	仿 作	戦	室	1式		県	٢	電	話	回	線	に	τ	接	続
アマチュ	ア無線局	消防	本 部	事系	务 室	2基		代:	表	葉山	ア	マチ	· д	ア無	線	クラ	ブ
県 計 測	地震計	消防作戦	室(防災	行政無	採線室)	1式		県	٢	電	話	回	線	に	τ	接	続
衛 星	電話	災害	対 策	本音	驱 室	4台		災		害		#	Ē		常		用
携帯	電話	役場防	災行	政無	線室	16台		災		害		#	Ē		常		用
特定少量電力ト	ランシーバー	役場防	〕災 行	政無	線室	9台	,	災		害		4	Ē		常		用

3.防災用移動系無線局(MCA無線)

平成30.4.1現在

種	別	呼出し名称	配置先
	1 車 載 型	は や ま 1	消防署
	2 車 載 型	はやま2	総務部総務課
	3 車 載 型	は や ま 3	総務部総務課
	4 車 載 型	は や ま 4	都市経済部道路河川課
	5 車 載 型	は や ま 5	総務部総務課
	6 車 載 型	は や ま 6	都市経済部道路河川課
	7 可 搬 型	は や ま 50	葉山警察警備課
	8 可 搬 型	は や ま 51	保健センター
	9 可 搬 型	は や ま 52	役場防災行政無線室 1
	10 可 搬 型	は や ま 53	役場防災行政無線室 2
	11 可 搬 型	は や ま 200	役場防災行政無線室 3
	12 携 帯 型	は や ま 201	役場防災行政無線室 4
	13 携 帯 型	は や ま 202	役場防災行政無線室 5
	14 携 帯 型	は や ま 203	役場防災行政無線室 6
MCA無線	15 携 帯 型	は や ま 204	役場防災行政無線室7
WICA無機能	16 携 帯 型	は や ま 205	役場防災行政無線室8
	17 携 帯 型	は や ま 206	役場防災行政無線室 9
	18 携 帯 型	は や ま 207	町 立 葉 山 小 学 校
	19 携 帯 型	は や ま 208	町立上山口小学校
	20 携 帯 型	は や ま 209	町 立 長 柄 小 学 校
	21 携 帯 型	は や ま 210	町 立 一 色 小 学 校
	22 可 搬 型	は や ま 211	町 立 葉 山 中 学 校
	23 可 搬 型	は や ま 212	町 立 南 郷 中 学 校
	24 可 搬 型	は や ま 213	役場防災行政無線室12
	25 可 搬 型	は や ま 214	クリーンセンター
	26 可 搬 型	は や ま 215	役場防災行政無線室13
	27 可 搬 型	は や ま 216	南郷上 ノ山 公園
	28 可 搬 型	は や ま 217	し お さ い 公 園
	29 携 帯 型	は や ま 301	役場防災行政無線室10
	30 携 帯 型	は や ま 302	役場防災行政無線室11

消防団通信機器等一覧表

1.無線・有線施設 平成30.4.1現在

番号			設	•			備			台	数	
1	デ	ジ	タ	ル	簡	易	無	線	局	65	台	
2	加		,	入		電	į		話	6	台	

2.無線局 平成30.4.1現在

規格	局数	設置場所	台 数	出力(W)
		本 団	10 台	5 W
デ		第 1 分 団	8 台	5 W
デジタ		第 2 分 団	8 台	5 W
ル 簡 見	65局	第 3 分 団	8 台	5 W
簡 易 無 線 局		第 4 分 団	8 台	5 W
局		第 5 分 団	15 台	5 W
		第 6 分 団	8 台	5 W

119番着信件数(固定・IP電話等含む)

平成29年中

種別	火災	救急	救助	その他	いたずら	間違い	7	の他	수늭
作里力リ	火火	双 忌	秋助	災害	11/295	周連い	通報訓練等	試験	合計
件数	8	1,089	3	9	4	34	134	73	1,354

携带電話119番着信件数

平成29年中

種別	火災	救急	救助	その他	いたずら	間違い	7	: の他	合計
作里力リ	入火	秋 志	秋助	災害	11/295	即煙い	通報訓練等	試験	口司
件数	10	551	4	11	3	57	6	3	645

Web119を利用しての119通報件数

平成29年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Web119登録者数

平成29年12年31日現在

登録者数	
17	

気 象 関 係



消防庁舎屋上の気象情報収集装置

月別気象調

気温() 平成29年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	18.3	17.8	16.9	22.5	26.5	26.9	32.5	34.8	30.9	28.1	22.0	16.2	
(起日)	(30日)	(23日)	(20日)	(17日)	(12日)	(23日)	(28日)	(25日)	(13日)	(12日)	(7日)	(11日)	
最 低	-2.4	-1.9	0.2	4.3	11.8	15.3	21.5	20.0	16.3	9.9	4.0	-0.7	
(起日)	(15日)	(11日)	(8日)	(1日)	(3日)	(14日)	(8日)	(31日)	(29日)	(19日)	(22日)	(28日)	
平均	6.6	7.3	8.4	13.9	18.9	21.0	25.8	25.9	22.5	17.0	13.0	7.5	15.7

湿度(%) 平成29年中

月別種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	97.6	99.7	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	
(起日)	(30日)	(23日)	(3日)	(18日)	(26日)	(30日)	(31日)	(30日)	(28日)	(30日)	(15日)	(25日)	
最 低	12.6	13.3	16.6	18.4	26.9	33.4	53.7	56.6	39.3	31.5	27.3	20.6	
(起日)	(25日)	(21日)	(20日)	(19日)	(2日)	(2日)	(17日)	(25日)	(15日)	(30日)	(21日)	(14日)	
平均	50.6	51.1	61.9	73.4	80.0	80.7	88.9	88.8	83.0	82.8	68.4	57.7	72.3

風速(m/s) 平成29年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最高	16.7	26.5	14.6	27.5	19.5	26.0	16.8	18.7	28.2	33.0	17.8	18.6	
風向	南	南	西北西	南	西北西	南南東	南南西	南	南	南	南南西	西北西	
(起日)	(27日)	(20日)	(22日)	(18日)	(1日)	(21日)	(24日)	(8日)	(18日)	(23日)	(11日)	(11日)	
平均	1.6	1.6	1.4	2.1	1.8	1.6	2.1	1.5	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6

雨量(mm)・積雪量(cm)

平成29年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
日積算	27.5	11.5	26.0	36.5	47.0	59.0	44.5	90.0	119.0	141.0	41.5	19.5	
(起日)	(8日)	(23日)	(21日)	(18日)	(13日)	(21日)	(4日)	(1日)	(28日)	(22日)	(23日)	(25日)	
降雨日数	3日	5日	12日	10日	5日	11日	7日	13日	15日	17日	9日	4日	
降雨量	34.0	23.0	110.0	134.0	78.5	144.0	98.0	188.0	361.5	506.0	79.5	24.5	148.4
積雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積雪量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

風向頻度調(%)

平成29年中

												1 7-70-	
	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
風向	平均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
北	4.9	6.4	7.5	6.3	3.5	2.5	2.3	1.6	2.7	3.7	12.9	5.7	4.2
北北東	7.8	9.6	11.0	8.9	4.9	4.1	4.0	2.6	5.5	7.2	12.9	10.7	11.7
北東	10.4	14.4	14.0	13.0	5.6	5.0	6.0	4.3	8.7	11.2	11.3	15.5	15.6
東北東	16.0	24.7	20.4	0.8	11.7	11.4	12.8	8.1	16.2	18.7	16.0	24.1	26.6
東	9.0	8.2	8.3	8.4	7.7	8.0	7.8	6.7	12.8	10.0	8.7	11.8	9.7
東南東	3.8	2.1	2.8	3.6	3.3	4.4	4.6	3.4	5.8	5.7	4.2	3.3	1.9
南東	3.1	1.4	1.8	2.9	3.2	4.5	4.4	2.8	3.8	4.2	4.6	2.2	1.0
南南東	4.8	1.1	1.9	1.8	6.5	9.3	7.5	12.0	6.9	4.8	3.1	1.5	1.5
南	12.5	1.9	3.2	5.4	21.7	27.4	21.1	33.6	15.3	12.4	2.9	3.3	1.9
南南西	7.4	2.7	7.0	4.2	15.0	11.4	12.2	12.6	9.2	7.9	1.9	3.3	1.7
南西	3.9	2.0	3.3	4.2	4.7	5.7	6.5	6.6	6.5	2.5	1.7	1.3	1.4
西南西	0.9	0.7	1.3	0.8	0.9	0.9	1.5	0.9	1.2	0.8	0.6	0.9	0.8
西	1.0	1.2	1.7	0.9	1.0	0.2	1.0	0.6	0.8	0.8	0.4	1.4	2.2
西北西	2.5	6.6	2.8	1.8	2.1	0.6	0.8	0.9	0.8	1.5	0.7	3.4	8.1
北西	4.2	8.0	5.4	4.0	3.2	1.4	3.5	1.4	1.2	3.1	4.7	7.2	7.8
北北西	5.8	9.0	7.6	9.4	5.0	3.2	4.0	1.9	2.6	5.5	13.4	4.4	3.9
静穏	3.7	1.7	1.5	2.9	4.0	5.8	5.9	3.9	5.2	4.5	3.6	3.0	2.0

予 防 関 係



火災予防運動

防火対象物・防火管理者選任状況

(延べ面積150m²以上) 平成30.4.1現在

1		── 区分		防火管理者	防火管理者
	用途		防火対象物数	選任義務対象物	選任届出済対象物
<u> </u>	1	劇 場等			
1 項	П	公 会 堂 等	16	16	16
	1	キャバレー等			
2 項		遊 技 場 等			
2 块	八	性風俗関連店舗等			
	=	カラオケボックス等			
3 項	1	待 合 等			
		飲 食 店 等	12	12	12
4 項		物品販売店等	27	19	18
5 項	1	旅 館 等	21	16	16
		共 同 住 宅 等	185	23	22
	1	病 院 等	5	3	3
6 項		社会福祉施設等(入所)	14	14	14
	八	社会福祉施設等(通所)	10	6	6
	=	幼 稚 園 等	7	5	5
7 項		学 校 等	17	7	7
8 項		図 書館 等	4	3	3
9 項	1	蒸気浴場等			
		公 衆 浴 場 等			
10 項		停 車 場 等			
11 項		神社等	17	4	4
12 項	1		6	1	1
		ス タ ジ オ 等			
13 項	1	駐 車 場 等	3		
		格 納 庫 等			
14 項		倉 庫 等	10		
15 項		事業所等	44	11	11
16 項	1	特定複合用途	68	29	28
	П	非特定複合用途等	20	1	1
16項の2		地下街			
16項の3		準 地 下 街		,	,
17 項		重要文化財等	1	1	1
18 項		ア ー ケ ー ド			
19 項		<u>山</u> 林			
20 項		舟 車	407	174	400
合		計	487	171	168

3階建て以上防火対象物状況

(延べ面積150㎡以上) 平成30.4.1現在

(建、田頂130	•	<i>,</i> 階数							合
田冷		PEXX	3	4	5	6	7	8	
用途									計
1 項	イ	劇 場 等							
		公 会 堂 等	2						2
	イ	キャバレー等							
2 項		遊技場等							
	八	性風俗関連店舗等							
	=	カラオケボックス等							
3 項	イ	待 合 等							
· ·		飲食店等	2						2
4 項		物品販売店等							
5 項	イ	旅 館 等	6	4					10
O 块		共 同 住 宅 等	36	12	9	8	1	1	67
	1	病 院 等	1						1
o 15	П	社会福祉施設等(入所)	4	3	1				8
6 項	八	社会福祉施設等(通所)	1						1
	=	幼 稚 園 等							
7 項		学 校 等	11						11
8 項		図書館等							
	イ	蒸気浴場等							
9 項		公 衆 浴 場 等							
10 項									
11 項		神社社等	1						1
	1	工場等	1						1
12 項		ス タ ジ オ 等							
		駐 車 場 等							
13 項	<u> </u>	Mar							
14 項		倉 庫 等	1						1
15 項		事 業 所 等	10	2					12
10 *#	1	 	28	5	1		1		35
16 項		非特定複合用途等	10	4	1				15
16 項 の 2		地 下 街	10	7	ı				13
16 項 の 2		準 地 下 街							
17 項									
		重 要 文 化 財 等 ア ー ケ ー ド							
18 項									
19 項		山 林							
20 項		舟 車		22	40			,	10-
合		計	114	30	12	8	2	1	167

防火対象物届出状况

平成29年度

	\mathcal{I}	对家物届出社		U														T 11)	729年	
		届出	防	消	統	全体	防	特	圧縮	消	消	I	消	表	火	電	防	防	防	
			火	防	括	E	火	าบ	ア	防	防	事	防	示	気	_	火	火	火	
· `			管	計	防	つ 	対	例	セチ		用	整	用	マ	使	気	対	対		
			理	画	火管	いて		認	レ	用	設	備	設	I		設			対	
	\	\	者	作	理	o o	象	心	ンガ	設	備	対	備	ク	用	備	象	象	象	合
			選	成	者	消防	物	定	ス	備	等	象	等	交	設		物	物		
			任	DX.	選	計	点	油	等				特	付	備	等	使	用	物	
			(*	任	画	検	適	貯 蔵	等	点	設##	例		等	設	用	途		
			解	変		作 成	結	用	又	設	検	備	規 定	更	設		開	廃	廃	
			任	更)	解	$\widehat{}$	果	ь	は 取	置	結	設	適	新	置	置	始	止	止	計
			届		任届	変更		申	扱い	届	果	置	用)		届			届	н
			出	届	出	()	報	請	い の		報	届	申	申	届	出	届	届	出	
			書	出	書	届出	告	*	届	出	告	出	· 請	請	出		出	出		
用	途)	書)	書	書	書	出書	書	書	書	書	書	書	書	書	書	書	
,	1	劇 場 等																		0
1		公 会 堂 等	2	2							7									11
	1	キャバレー等																		0
_	П	遊 技 場 等																		0
2	八	性風俗関連店舗等																		0
	=	カラオケボックス等																		0
_	1	待 合 等																		0
3		飲食店等	2	3			1			1	19					1	3	1		31
4		物品販売店等	8	12						7	24	1					2	1		55
_	イ	旅 館 等	10	10			2			1	24			2			1	2		52
5		共 同 住 宅 等	5	5						8	52	2				1	3			76
	1	病院等		1			1				7									9
		社会福祉施設等(入所)	6	10					1	7	11									35
6	八	社会福祉施設等(通所)	4	6						8	12	1				1	2	1		35
	=	幼稚園等	2	2						1	5	2				•	1	<u> </u>	1	14
7		学校等	2	4						-	7						•			13
8		図書館等									3						1			4
\vdash	1	蒸気浴場等									-						-			0
9		公衆浴場等																		0
10	Н	停 車 場 等																		
		神社等									0									0
11	1									4	8						4			8
12	7									1	3						1			5
		スタジオ等																		0
13	1	駐 車 場 等																		0
		格納庫等																		0
14		倉 庫 等	1							1	3						1			6
15		事業所等	2	1						4	21	4				1	4			37
16		特定複合用途	10	13		1	4			21	43	11	1			2	13	2		121
		非特定複合用途等								3	2	1					2			8
160		地 下 街																		0
160	D 3	準 地 下 街																		0
17		重要文化財等									1									1
18		アーケード																		0
19		山林																		0
20		舟 車																		0
そ		の 他							2							1				3
合		計	54	69	0	1	8	0	3	63	252	22	1	2	0	7	34	7	1	524

その他届出状況 平成29年度

月													
届出	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
(曲山)													
催物開催届出書	2			1	1			1					5
火災と紛らわしい行為の届出書										13	1	2	16
煙 火 打 上 げ 届 出 書													0
道路工事(占用)届出書										2	3	3	8
露店等開設届出書	1	1	1	2	2	1	1	1		1			11

危険物関係届出状況

平成29年度

	/ \ //	ט												, <u>~</u> 0¬	
製造所等の別	少量危険物貯蔵取扱届い出書	少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	危険物保安監督者選任(解任)届出書	危険物製造所等完成検査申請書	危険物貯蔵所 (取扱所) 変更届出書	予防規程制定変更認可申請書	危険物製造所等変更許可申請書	危険物製造所等仮使用承認申請書	危険物仮貯蔵・仮取扱申請書	危険物製造所等譲渡引渡し申請書	危険物製造所等設置許可申請書	危険物製造所等休止届出書	危険物製造所等廃止届出書	資料 提出書	合計
		盲				П		盲		盲					
屋内貯蔵所															0
屋内タンク貯蔵所										1				1	2
地下タンク貯蔵所				1	2		1			1			1		6
移動タンク貯蔵所															0
給油取扱所			1	1	3		1	1						8	15
第2種販売取扱所															0
一般取扱所					1										1
合 計	0	0	1	2	6	0	2	1	0	2	0	0	1	9	24

火災予防査察実施状況

防火対象物(対象は150㎡以上)

平成29年度

1937	V12/	彻(对象局	3.13011	INT.	,					⊤ 13.	(294)
	、 法施行 第1 <i>の</i>	行令)防火対象		ミ施数			防火対 象物数 A	查察 実施数 B	查察 実施率 B/A %	警告数	命令数
(1)		公	숝	堂	ŧ	筝	17				
(3)	П	飲	食	店	Ę	等	16	10	63		
(4)		物品	販	売	店(等	27	21	78		
(5)						等	21	16	76		
(3)		共同		È 3	宅 等	筝	185				
	1	病	βş	完	Ę	筝	5	6	120		
(6)	П	社会福	祉施討	设等 (入所)	14	12	86		
(0)	八	社会福祉施設等(通所)					10	4	40		
	П	幼	稚	蒄		等	7				
(7)		学	村		ŧ	等	17				
(8)		図	書	館		等	4				
(11)		神	₹	t	ŧ	等	17				
(12)	7	I	埧	易		等	7				
(13)	1	駐	車	場		等	3				
(14)		倉			<u>J</u>	ŧ	10				
(15)		事	業	所	ê	等	45				
(16)	7	特定	複	合	用道	金	68	27	40		
(10)		非特別	定複	合 用	途(手	20				
(17)		重要	なゞ	て 化	財(等	1				
î	合 計						494	96	19		

危険物施設

平成29年度

查察実施数 危険物施設	危険物 施設数 A	查察 実施数 B	查察 実施率 B/A %	警告数	命令数
屋内貯蔵所	1				
屋内タンク貯蔵所	1				
地下タンク	12	7	58		
移動タンク貯蔵所	2				
給油 取扱所	8	8	100		
第 2 種 販 売 所	1				
一 般 取 扱 所	10	2	20		
合 計	35	17	49		

危険物施設状況

平成30.4.1現在

	貯蔵所等					苋 所			取扱所	<u>-</u> 万以30 . 4	
				屋	屋内	地下	移動	給	第 2	_	싑
Σ	区分			内	内タンク	地下タンク	移動タンク	油	種 販 売	般	計
	第	1	類								
類	第	2	類								
	第	3	類								
	第	4	類	1	1	12	2	8	1	10	35
別	第	5	類								
	第	6	類								
	合	計		1	1	12	2	8	1	10	35
	5	倍 以	下	1	1	9	1			4	16
数	5 倍	き超え10 倍	· 以下			2	1	1		6	10
	10 倍	おを超え50 倍	音以下			1		2	1		4
量	50 倍	き超え100倍						1			1
	100 倍	そ超え150倍	音以下								
別	150 倍	そ超え200倍	音以下					1			1
	200 倍	きを超える	もの					3			3
	合	計		1	1	12	2	8	1	10	35

地区別危険物施設状況

平成30.4.1現在

地区	木	上	下	_	堀	長	合
	古	Щ	Щ				
貯蔵所等	庭	П	П	色	内	柄	計
屋内貯蔵所					1		1
屋内タンク貯蔵所					1		1
地下タンク貯蔵所	1	1	2	1	6	1	12
移動タンク貯蔵所						2	2
給油 取扱所	3			2	2	1	8
第2種販売取扱所	1						1
一 般 取 扱 所	1	2	1	3	2	1	10
合 計	6	3	3	6	12	5	35
少量危険物	3	11	3	9	8	7	41

地区別危険物貯蔵取扱状況

平成30.4.1現在

	地区	木	上	下	1	堀	長	合
		古	Щ	Щ				
類	頁別	庭			色	内	柄	計
	第 1 石 油 類	88,000			80,000	6,080	50,000	224,080
第 4 類	第2石油類	38,956.8	16,078	14,000	70,000	32,917	41,540	213,491.8
	第 3 石 油 類	6,000		5,000	11,000	67,381	19,000	108,381
()	第 4 石 油 類							
合	計	132,956.8	16,078	19,000	161,000	106,378	110,540	545,952.8

危険物施設許認可処理状況

平成29年度

	貯蔵所等		貯禕				取扱所		合
件数	件数		屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	給油	第2種 販売	一般	計
許可	変 更			1		1			2
at PJ	設 置								
完 成	変 更			1		1			2
検 査	設 置								
他市へ	の変更								
(移動・	タンク)								
仮 使)	用 承 認					1			1
休	止 届								
廃	止 届			1					1
完成検	直前 検査								
合	計			3	_	3	_		6

用途別建築同意等事務処理状況

(計画通知は同意に含む)

平成29年度

			種別		新	増	改	用	合
					371	-		途	
用词	诠				築	築	築	变 更	計
7.07	<u>~</u>			<u></u> 等				~	
1	<u></u>	公会		等					
	<u>ー</u>	キャバ		等					
	<u> </u>	遊技	-	等					
2	八	性風俗厚		等					
	=	カラオケ		 -					
_	1	待	合	等					
3		飲食	 店	等					
4		物 品 販	売 店	等	2				2
	1	旅館							
5		共 同	住 宅	等	5			1	6
	1	病	院	等	1				1
		社会福祉施	設等 (入所	:)					
6	八	社会福祉施	設等 (通所	:)					
	=	幼 稚	袁	等	1				1
7		学	校	等					
8		図書	館	等		2			2
9	イ	蒸気	浴場	等					
3		公 衆	浴場	等					
10		停 車	場	等					
11		神	社	等					
12	1	エ	場	等					
		ス タ	ジ オ	等					
13	1	駐車	場 	等					
		格納	庫	等					
14		倉	庫	等	1				1
15		事 業	所	等	1				1
16	イ -	特定複		途	1				1
		非特定被	T	等	_				
住		宅		意	7				7
<u> </u>			, 通	知	148	5			153
<u>長</u> 仮		 海		<u>屋</u> 家	3				3
<u> 1 X</u> 建	 築		の 計 通	<u>多</u> 知	8				8
<u></u> そ	*	ii又 1/4 の	a 122	他	6	1			7
			同	意	36	3		1	40
小		青	·	知	151	5		'	156
合			<u> </u>	計	187	8		1	196
Н				н	107	U		1	100

地区別消防同意・確認通知・計画通知状況

平成29年度

	地区			木古	上山	下 山	_	堀	長	合
区分				庭		П	色	内	柄	計
消	防	同	意	1	1	7	12	11	8	40
確	認	通	知	3	9	24	38	40	42	156
計	画	通	知							
合			計	4	10	31	50	51	50	196

過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

種別	年	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		37	57	45	64	36
新	築	174	192	184	230	151
		4			2	3
増	築	7	4	5	5	5
	-					
改	築					
	-				1	1
用途变	更					
		41	57	45	67	40
小	計	181	196	189	235	156
合	計	222	253	234	302	196

上段 消防同意によるもの

中段 確認通知書によるもの

下段 計画通知によるもの

救 急 関 係



高規格救急車

救急概況

救急出場件数単位:件

救急搬送人員単位:人 平成29年中

救	急	出	場	件	数	1,648
救	急	搬	送	人	員	1,579

町内外在住別搬送人員状況

単位:人 平成29年中

囲丁	内	在	住	者	1,258
囲丁	外	在	住	者	321
そ		0		他	0
合				計	1,579

傷病程度別搬送人員状況

単位:人 平成29年中

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
23	117	773	666		1,579

発生日別状況

単位:件 平成29年中

休日	休日以外	合 計
367	1,281	1,648

救急救命士資格者及び再教育実施状況

单位:人 平成30.3.31現在

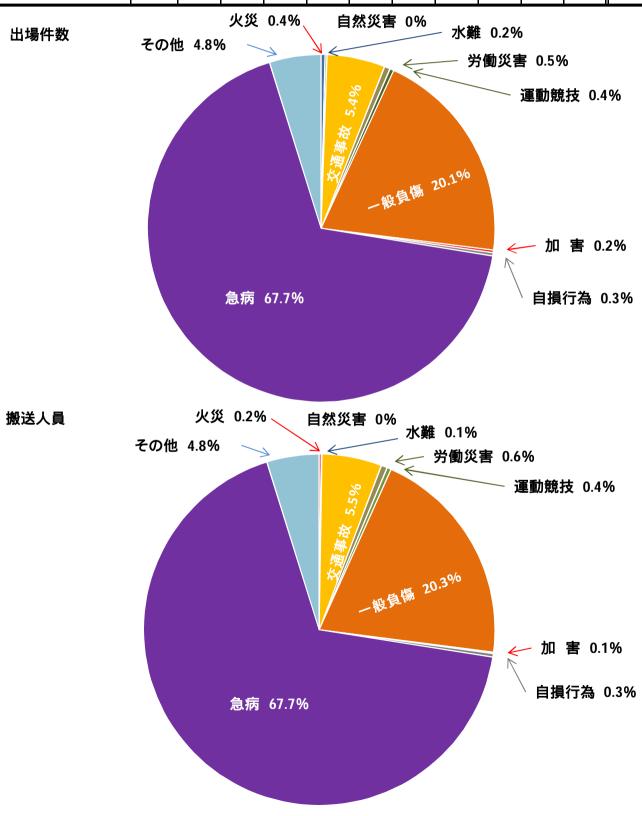
救急救命士	気管挿管	ビデオ硬性挿管 用喉頭鏡	薬剤投与	拡大 2 行為	再教育	
14	9	7	14	13	11	

- ・「拡大2行為」とは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与をいう。
- ・「再教育」とは、救急業務に従事している者で、2年間で128時間以上(96時間以上の病院実習及び32時間以上の指定教育プログラム)の教育を修了した者。

救急出場・搬送人員状況

平成29年中

種別 件数/人員	火災	自然災害	水	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	そ の 他	合計
出場件数	6		3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648
搬送人員	3		1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579



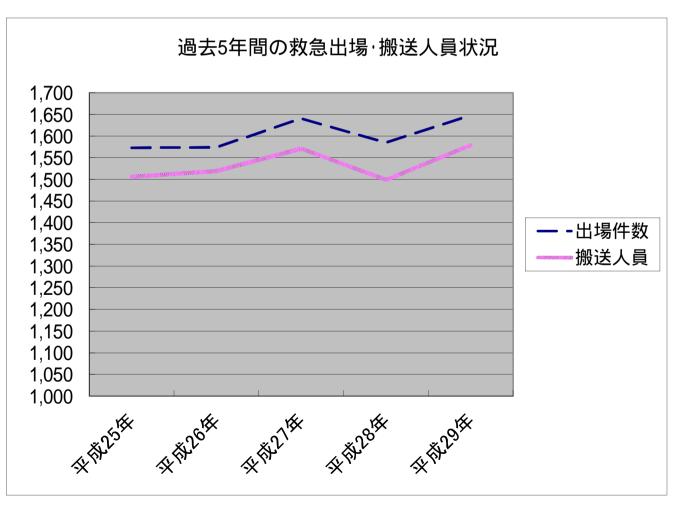
月別救急出場・搬送人員状況

平成29年中

	種別	بار	自	- L-	4.	労	運	_	4n	自	4	7 -		7.29年中
		火	然	水	交	働	動	般	加		急	そ	合	不
			災			災	競	負		行		0		搬
月	件数/人員	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計	送
1	出 場 件 数	1			6		2	28		1	107	8	153	7
,	搬送人員				7		2	28		1	101	8	147	,
2	出 場 件 数				7	1	2	29		1	83	5	128	5
	搬送人員				7	1	2	28		1	80	4	123	3
3	出 場 件 数				5			38	1		90	7	141	8
3	搬送人員				5			34			87	7	133	0
4	出場件数				6	1		15			69	9	100	4
4	搬送人員				6	1		14			67	8	96	4
-	出 場 件 数				12			25		1	96	5	139	3
5	搬送人員				11			24		1	95	5	136	3
	出場件数				6			29			75	4	114	
6	搬送人員				6			29			72	4	111	3
7	出場件数	1			7	1		28		1	131	8	177	7
/	搬送人員				7	1		27		1	126	8	170	,
0	出場件数	2		2	10	2	1	37	2		104	7	167	10
8	搬送人員	1		1	9	2	1	37	1		98	7	157	10
	出場件数			1	10	1	1	20			83	4	120	7
9	搬送人員				10	1	1	20			77	4	113	7
10	出場件数				7			31			95	11	144	4
10	搬送人員				7			30			93	10	140	4
44	出 場 件 数				8	2		25	1		90	4	130	4
11	搬送人員				8	2		25	1		86	4	126	4
40	出 場 件 数	2			5	1		27		1	92	7	135	_
12	搬送人員	2			4	1		25		1	87	7	127	9
ا خا	出 場 件 数	6	0	3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648	74
合計	搬送人員	3	0	1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579	71

過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別件数/人員	火災	自然災害	水	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	そ の 他	合計	不搬送
平成	出 場 件 数	10		6	116	12	9	301	6	11	1,061	41	1,573	84
25年	搬送人員	1		4	121	11	9	306	4	3	1,006	41	1,506	04
平成	出 場 件 数	7		5	92	10	8	301	6	6	1,071	68	1,574	68
26年	搬送人員	6		3	86	10	8	295	5	3	1,035	68	1,519	00
平成	出 場 件 数	6		6	89	10	5	320	2	8	1,141	53	1,640	83
27年	搬送人員	2		3	96	10	5	308	2	6	1,094	45	1,571	0.5
平成	出 場 件 数	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585	92
28年	搬送人員	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499	92
平成	出 場 件 数	6		3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648	71
29年	搬送人員	3		1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579	, ,



町内外在住別救急搬送人員状況

平成29年中

	種別	火	自然	水	交	労働	運動	般	加	自損	急	その	合
在住		災	災害	難	通	災害	競 技	負 傷	害	行 為	病	他	計
囲丁	内	1			41	2	5	245		4	913	47	1,258
囲丁	外	2		1	46	7	1	76	2	1	156	29	321
そ の	他												0
合	計	3	0	1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579

時間別救急出場状況

	種別	火	自然	水	交	労働	運動	般	加	自損	急	その	合
時間		災	災害	難	通	災害	競 技	負 傷	害	行 為	病	他	計
0	~ 2				3			7		1	56	1	68
2	~ 4				1			9	2		40	3	55
4	~ 6	1			1			7			54		63
6	~ 8				3	1		18		1	86		109
8	~ 10				13	1		45			140	7	206
10	~ 12	1			13	2	1	62			139	14	232
12	~ 14	3			12	2	1	32			110	24	184
14	~ 16			2	9	1	2	46	1	3	110	11	185
16	~ 18			1	12		1	39			117	6	176
18	~ 20				11	2	1	32			105	8	159
20	~ 22	1			7			17	1		81	4	111
22	~ 24			_	4	_		18		_	77	1	100
合	計	6	0	3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648

曜日別救急出場状況

平成29年中

種別	火	自然	水	交	労働	運動	— 般	加	自損	急	その	合
曜日	災	災害	難	通	災害	競 技	負傷	害	行 為	病	他	計
	1			12		1	50	2		198	10	274
月			1	10	2		39	1	2	171	16	242
火				17	2	2	45			153	11	230
水	2		1	16	2		45			168	13	247
木	3			13	2	1	46	1	1	129	10	206
金			1	9		1	48		1	135	14	209
土	_		·	12	1	1	59		1	161	5	240
合 計	6	0	3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648

覚知別救急出場状況

平成29年中

覚知	種別	火災	自然災害	水	交通	労働災害	運 動 競 技	般負傷	加害	自損行為	急病	そ の 他	合計
119	番	6		2	84	9	6	328	4	5	1,100	77	1,621
加	入			1	1			2			8	2	14
かけつ	け				1			2			4		7
そ の	他				3						3		6
合	計	6	0	3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648

地区別救急出場状況

		種別	火	自	水	交	労	運	— 60	加	自	急	そ	合
\				然災			働 災	動競	般 負		損 行		の	
地区			災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計
木	古	庭	1			4	1		20	1		66	1	94
上	Щ					9	1		25		2	114	10	161
下	Щ					6	1		22			84	35	148
_		色			1	16	4	1	99		2	303	24	450
堀		内	4		2	20	1	2	103	1		282	6	421
長		柄	1			33	1	3	59	2	1	258	3	361
囲丁		外				1		·	4			8		13
合		計	6	0	3	89	9	6	332	4	5	1,115	79	1,648

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況

	種別	ılı.	自	-14	4-	労	運		÷n	自	Д		23 4 +
1	1277	火	然	水	交	働	動	般	加	損	急	そ	合
左监			災			災	競	負		行		Ø	
年齢 区分	傷病程度	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計
	死 亡												
	 重 症												
新													
新生児	 軽 症										1		1
76	その他										·		
	合 計										1		1
													· ·
											1		1
乳	 中 等 症				2			1			5	2	10
乳 幼 児	 軽 症				1			26			36		63
76	その他							-					
	合 計				3			27			42	2	74
	死 亡												
	重 症				1						1		2
少	中等症				2		1	1			6	1	11
年	 軽 症				4		4	7			14		29
	その他												
	合 計				7		5	8			21	1	42
	 死 亡									1	2		3
	 重 症			1	1						18	1	21
成	中等症	2			13	2		19		1	116	14	167
人	軽 症	1			43	5	1	50	2	1	107	1	211
	その他												
	合 計	3		1	57	7	1	69	2	3	243	16	402
	死 亡										20		20
	重症				2			3		2	76	10	93
老	中等症				6	1		95			444	39	585
人	軽 症				12	1		119			222	8	362
	その他												
	合 計				20	2		217		2	762	57	1,060
	死 亡									1	22		23
	重症			1	4			3		2	96	11	117
合	中等症	2			23	3	1	116		1	571	56	773
計	軽 症	1			60	6	5	202	2	1	380	9	666
	その他												
	合 計	3		1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579

救急隊員の行った応急処置

					I	I	<u> </u>	平成29年中
		利	重 別	急	交		そ	合
						般	の	
	応急処置			病	通	負 傷	他	計
応	急 処 置	対 象	人員	1,067	87	320	102	1,576
止			血	2	2	32	3	39
固			定	10	61	92	6	169
人	I	呼	吸	9				9
心	マッ	サ -	- ジ	11				11
		うち	自 動	11				11
心	肺	蘇	生	44		1	2	47
		うち	自 動					0
酸	素	吸	λ	272	4	11	32	319
気	道	確	保	65	1	2	3	71
		うち経鼻	エアウェイ	6		1	2	9
		うち喉頭鏡	・鉗子等使用	14		1		15
		うちラリンゲ	アルマスク等使用	26			1	27
		気 管	挿 管	3				3
保			温	756	65	233	69	1,123
被			覆	10	48	128	12	198
在	宅 療	法	迷続	26		2	5	33
		A ,	点 滴	4			4	8
		В 5	小 瘻	11		2	2	15
		C そ	の他	15				15
除	×	Ш	動	9				9
薬	剤	投	与	21			1	22
そ	の 他 の	応 急	処 置	1,053	87	317	101	1,558
血	圧	測	定	1,010	87	310	99	1,506
聴	<u></u>		器	537	49	100	46	732
血	中酸素(抱 和 度	測定	1,027	87	317	100	1,531
心			図	843	26	142	81	1,092
		うち	伝 送					0
静	脈	各 確	保	23			1	24
		うち	CPA 前	1				1
<u> </u>	糖	測 +	定	4				4
ヹ	ピ ペ ド ウ		设 与	1				0
	1 ⁻ 7	1/占 1	殳 与	1				l

収容状況

平成29年中

収料	種別 容先	火災	自然災害	水	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	そ の 他	延搬送人員
町	内医療機関				2			1			74	6	83
	逗 子 市				10			13			8		31
町 外	横須賀市	3		1	52	9	2	210	2	5	613	25	922
外 医 療 機	鎌倉市				7		2	44			174	39	266
機 関	横浜市				16		2	53			196	6	273
	その他										4		4
合	計	3	0	1	87	9	6	321	2	5	1,069	76	1,579

医療機関紹介状況

平成29年中

照	会	先	管内当番医療機関	当番以外の 管内医療機関	その他の医療機関	合 計
件		数	76	3	438	517

応急手当普及啓発活動実施状況

≐韭			習	実施要綱に基	づく普及講習	スの仏の誰羽	Δ ±1
講	神			普通救命講習	上級救命講習	その他の講習	合 計
実	施	回	数	18	2	7	27
受	講	人	数	296	32	506	834

応援救急出場件数

平成29年中

種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	合
		然		通	働	動	般		損		စ	
		災		事	災	競	負		行		0)	
区分	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他	計
横須賀市										1		1
逗 子 市				1			1			8		10
合 計	0	0	0	1	0	0	1	0	0	9	0	11

受援救急件数

種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	合
		然		通	働	動	般		損		•	
		災		事	災	競	負		行		О	
区分	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他	計
横 須 賀 市				7			6			23	1	37
逗 子 市				1		1	2			8		12
合 計	0	0	0	8	0	1	8	0	0	31	1	49

救 助 関 係



平成29年5月 町長・消防長救助技術訓練査閲

救助概況

平成29年中

種別	火	災	交	水	風自	l k	幾よ	建よ	ガ酸	破	その	_
	建	建	通	難	水然	ţ	へる ボー	物る	ス欠	裂	の事	合
		物 以	事	事	害災	· .	事	等事	及 事	事		計
区分	物	外	故	故	等割	<u> </u>	こ故	に故	び故	故	他故	
出 場 件 数	3		1	2				3			8	17
活 動 件 数	2		1	1				2			6	12
救助 人員	1		1	1				2			3	8
出場延人員	120		8	21				27			85	261

救助出場人員・活動人員状況

平成29年中

		種別		火	災	交	水	風自	機。	建よ	ガ酸	破	その	•
X	分	\		建物	建物以外	通 事 故	難 事 故	水紫等等	械に古	等事	ス 欠 及 事 び 故	裂 事 故	の事他故	合計
	救 助	隊	員	6		2	4			6			18	36
出	消防	隊	員	37		3	11			12			49	112
場人	救 急	隊	員	9		3	6			9			18	45
人員	消防	4	員	68										68
	合	ì	Ħ	120		8	21			27			85	261
	救 助	隊	員	6			2			4			14	26
活 動	消防	隊	員	37			6			8			36	87
動人	救 急	隊	員	6		3				3			9	21
員	消防	4	員	54										54
	合	ī	計	103		3	8			15			59	188

発生場所別救助人員状況

		種別	火	災	交	水	風 自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	
X	I分		建物	建 物 以 外	通 事 故	難 事 故	水 然 害 災 等 害	械事故	物 る 事 に 故	ス 及 事 び 故	裂 事 故	の事他故	合計
屋内	住	: 居	1	,					2				3
内	そ	の他の屋内											
	道	高速道路											
	路	その他の道路			1								1
屋外	水	内 水 面										1	1
外	面	外 水 面				1							1
	山	岳											
	そ	の他の屋外										2	2
圤	b	下											
そ		の 他											
Ê	<u> </u>	計	1		1	1			2			3	8

救助出場車両・活動車両状況

平成29年中

	種別	火	災	交	水	風自	機よ	建よ	ガ酸	破	7 0	
X	St .	建物	建物以外	八通 事 故	難事故	水害等	機械による事故	物等にある事故	スス及びおり	製 事 故	そ の の 事 他 故	合計
	救助工作車			1				1			8	10
出	消防ポンプ自動車	6		1	3			3			10	23
出場車両等	救急自動車	3		1	3			3			7	17
両	その他	7			2			2			8	19
等	消防団車両	7										7
	合 計	23		3	8			9			33	76
	救助工作車							1			6	7
活	消防ポンプ自動車	6			2			2			8	18
動	救急自動車	3		1				1			4	9
動車両等	その他	7	·		1			1		·	5	14
等	消防団車両	5										5
	合 計	21		1	3			5			23	53

発生場所別救助出場(活動)状況

平成29年中

×	分	,	種別	/	火 建 物	災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械に	よる事故	物 等	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	そ の 他	の事故	合計
屋内	住			居	2(1)								3(2	2)						5(3)
内	そ	の他	の層	屋 内	1(1)															1(1)
	道	高道	東道	路																
	路	そのイ	他の	道路			1(1)													1(1)
屋外	水	内	水	面														1(1)	1(1)
外	面	外	水	面				2(1)												2(1)
	F			田																
	そ	の他	の層	星 外														7(5)	7(5)
圤	<u>ե</u>			下																
そ		の		他																
	<u> </u>			計	3(2)	-	1(1)	2(1)					3(2	2)			-	8(6)	17(12)

) 内は活動件数を表す

時間別救助出場(活動)状況

平成29年中

	Ŧ	重別	火	災	交	水	風	自	機	ょ	建	ょ	ガ	酸	破	その	
			建	建物	通 事	難事	水害	然災	械	る 事	物等	る事	ス 及	欠事	裂事	の事	î
区分			物	以 外	故	故	等	害	に	故	に	故	び	故	故	他 故	計
0	~	2															
2	~	4															
4	~	6	1(1)														1(1)
6	~	8															
8	~	10														1(1)	1(1)
10	~	12									•	1				2(2)	3(2)
12	~	14	1(1)								2(2)				2	5(3)
14	~	16				2(1)										1(1)	3(2)
16	~	18														2(2)	2(2)
18	~	20			1(1)												1(1)
20	~	22	1														1
22	~	24															
合		計	3(2)		1(1)	2(1)					3(2)				8(6)	17(12)

)内は活動件数を表す

地区別救助出場状況

平成29年中

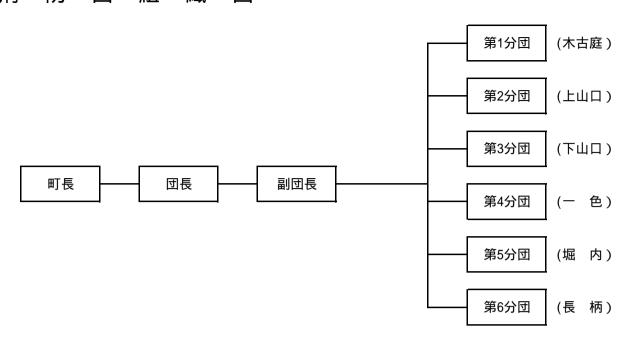
	利	重別	火	災	交	水	風自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	_
区分			建物	建物以外	通 事 故	難 事 故	水然寒災等害	横事に故	物 る等 事 に 故	ス 欠 及 事 び 故	裂 事 故	の事他故	合計
木	古	庭	1									1	2
上	Щ	П											
下	Щ								1				1
_		色							1			2	3
堀		内	2			2						1	5
長		柄			1				1				2
囲丁		外										4	4
合		計	3		1	2			3			8	17

消防団関係



平成30年葉山町消防出初式

消防団組織図



消防団員定員・実員

平成30.4.1現在

消防団数	分 団 数	級階定員	団長	副団長	分 団 長	副分団長	部長	班長	団	合計
1	G	定員	1	2	6	7	13	26	143	198
	6	実員	1	2	6	7	13	25	113	167

消防 団 員 報 酬

平成30.4.1現在

階 級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団	技術員
年額	92,000	72,000	56,000	47,000	38,000	33,000	32,000	23,000

消防団員出動費用弁償

平成30.4.1現在

						172001117812
出			場	単位	金額	摘要
災	害	出	場	1回	2,700	現場において業務に従事したものに支給する。
訓	練	出	場	1回	2,700	1日以上にわたるときは1日を単位とする。
警	戒	出	場	1回	2,700	同上

消防団詰所所在地

平成30.4.1現在

分団	住	構造	階数	敷地面積(㎡)	延面積(㎡)	完 成 年 月 日
第 1 分 団	木古庭 606番地1 606番地3	鉄骨造	2	217.17	177.49	平成2年11月13日
第 2 分 団	2404番地1 上山口 2405番地3 2408番地5	鉄骨造	2	207.60	117.75	平成11年3月26日
第 3 分 団 (複合施設用途)	下山口 1705番地1	鉄骨造	1	679.61	85.05	平成9年11月28日
第 4 分 団	一色 1503番地3	鉄骨造	2	337.00	123.41	平成13年3月27日
第 5 分 団	堀内 774番地1	鉄骨造	2	311.40	113.96	平成15年3月17日
第 6 分 団	長柄 488番地3	鉄骨造	1	756.00	122.42	平成29年3月31日

消防団員配置

平成30.4.1現在

階級	_							
	寸	副	分	副	部	班	団	合
		团	団	分 団				
	長	長	長	長	長	長	員	計
分団								
本 団	1	2						3
第 1 分 団			1	1	2	4	18	26
第 2 分 団			1	1	2	4	14	22
第 3 分 団			1	1	2	4	17	25
第 4 分 団			1	1	2	4	13	21
第 5 分 団			1	2	3	5	31	42
第 6 分 団			1	1	2	4	20	28
合 計	1	2	6	7	13	25	113	167

消防団員年齢

平成30.4.1現在

ß	指 級	団	副	分 団	副分団長	部	班	団	合
年 齢		長	収	長	収	収	収	員	計
18 ~	24							9	9
25 ~	29							13	13
30 ~	34						4	14	18
35 ~	39			1	1	5	4	23	34
40 ~	44			3	3	5	11	19	41
45 ~	49			1	1	2	3	18	25
50 ~	54				2		3	12	17
55 ~	59		1	1		1		5	8
60 ~	64	1	1						2
65 歳	以上								0
合	計	1	2	6	7	13	25	113	167
平均	年 齢	63	60	44	44	42	41	39	

消防団員勤続年数

平成30.4.1現在

分 団 年 数	本団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合計
5 年 未 満		7	3	8	3	13	6	40
5 年以上10年未満		7	10	8	6	5	10	46
10年以上15年未満	1	3	6	6	7	11	5	39
15年以上20年未満		1	3	1	4	7	2	18
20年以上25年未満	2	4		1	1	3	4	15
25年以上30年未満		3		1		3		7
30 年 以 上		1					1	2
合 計	3	26	22	25	21	42	28	167

消防団出場状況

平成29年度

	分	വ	本	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	合
出場	回人	数員	団	分 団	第 2 分 団	分 団	分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	計
,I, ««		数	6	1	1	1	1	4	4	18
火災	人	員	19	8	6	15	10	62	50	170
訓練	回	数	28	5	6	9	6	12	7	73
可川和木	人	員	83	36	41	41	30	46	40	317
警戒	回	数	3	6	6	6	6	6	6	39
≡™	人	員	8	49	49	49	49	59	49	312
風水害		数	4	4	4	4	4	4	4	28
風小舌	人	員	11	34	34	35	29	36	30	209
この出 こ	回	数	4	7	7	6	6	6	7	43
その他	人	員	17	70	61	68	50	57	72	395
合 計	延回	〕数	45	23	24	26	23	32	28	201
	延人	. 員	138	197	191	208	168	260	241	1403

								十成30.4	75.—
区分		車 両	<u>ተ</u>	登 録	原	動	機 オ	ペ ン	プ
分団	配置車両	会 社 名	年式	年 月 日	エンジン 社 名	気筒容積 (CC)		ポ ン プ 型 式	ポンプ級 別
<i>~</i>	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	17	平成17年 3月9日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
第 1 分 団	資 機 材搬 送 車	日 産	29	平成29年 12月5日	日 産	650			
	小 型 動 カ ポ ン プ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
笙	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	17	平成17年 10月20日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
第 2 分 団	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	26	平成26年 3月17日	ダイハツ	650			
	小 型 動 カ ポ ン プ		26	平成26年 3月17日	トーハツ	526	トーハツ	VF63AS	B-2
∽	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	20	平成20年 10月16日	日 野		G M いちはら	GM2H2	A-2
第 3 分 団	資機材搬送車	日 産	28	平成28年 12月9日	日 産	650			
	小 型 動 カ ポ ン プ		26	平成26年 9月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
~	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	15	平成15年 11月20日	三菱	5,240	G M いちはら	GM2H2	A-2
第 4 分 団	小型動力ポンプ 付 積 載 車	スバル	20	平成20年 10月30日	スバル	650			
띡	小 型 動 カ ポ ン プ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
学	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	22	平成22年 3月19日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
第 5 分 団	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	22	平成22年 12月2日	ダイハツ	650			
	小 型 動 カ ポ ン プ		22	平成22年 12月2日	トーハツ	526	トーハツ	VF63AS	B-2
第 6	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	21	平成21年 10月15日	日 野	4,000	G M いちはら	GM2H2	A-2
分 団	小 型 動 カ ポ ン プ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1

消防団備品配置

平成30.4.1現在

								732,00.1.	
分	寸	合	本	第	第	第	第	第	第
				1	2	3	4	5	6
				分	分	分	分	分	分
備品		計	团	団	団	団	団	団	团
消防ポンプ自動	車	6		1	1	1	1	1	1
小型動力ポン	プ	6		1	1	1	1	1	1
小型動力ポン 付積載	プ 車	5		1	1	1	1	1	
防火	衣	123	3	20	20	20	20	20	20
防火	帽	203	3	33	32	27	45	25	38
ヘルメッ	7	170	3	19	24	30	29	42	23
ホース (5 0 mm)	233		38	38	39	38	38	42
発動 発電	機	8		1	1	1	2	1	2
投光	機	11		2	2	2	2	2	1
エ ア フ ォ ー ム 原		15		3	3	3	3	1	2
エンジンカッタ		6		1	1	1	1	1	1
デジタル簡易無線		65	10	8	8	8	8	15	8
特定小電力無線	機	33	3	5	5	5	5	5	5
救 命 胴	衣	90		10	10	20	20	20	10

平成30年版消防年報

編集・発行 葉山町消防本部

〒240 - 0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地10 TEL 046(876)0119 FAX 046(876)1263